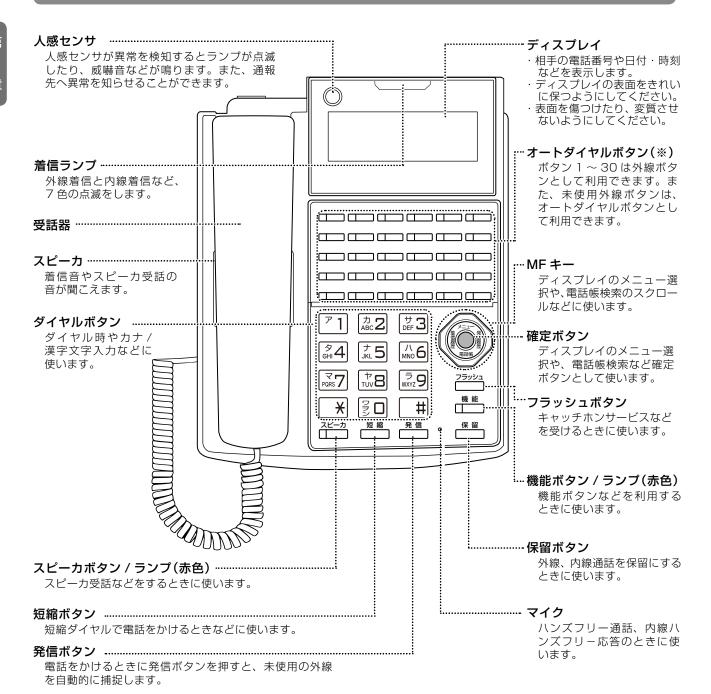
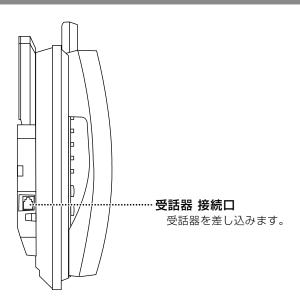
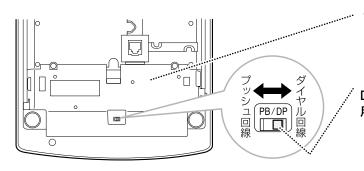
第 1 章　電話機の取り扱い

1-1 電話機の各部の説明

各部の名称と説明

正面の説明

（※）多機能電話機には、30 個の外線・オートダイヤルボタンを持つ機種と 18 個の外線・オートダイヤルボタンを持つ機種があります。2 つの機種は、外線・オートダイヤルボタンの数以外の使いかたは同じです。上図は、30 個の外線・オートダイヤルボタンを持つ機種の絵です。

側面の説明

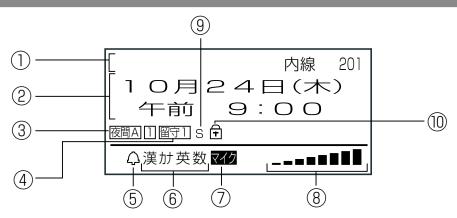
受話器 接続口
受話器を差し込みます。

底面の説明（停電ユニット搭載時の電話機の場合）

アナログ停電ユニットまたは ISDN 停電ユニット

DP（20PPS）/PB 切替スイッチ（アナログ停電用ユニットのみ）

電話回線に合わせてダイヤル回線（DP）またはプッシュ回線（PB）に設定します。停電用電話機として使用する場合、正しく設定しないと停電中にダイヤルできません。

お買い上げ時は「PB」です。

ディスプレイ表示

ディスプレイの見かた

番号	表示例	内容
①	内線　201（待機状態）	内線番号が表示される
	外線通話　0：01（外線通話中）	呼種別、通話時間などが表示される
②	１０月２４日(木) 午前９：００	カレンダー、時計が表示される。 設定により横倍、縦倍、標準の表示ができる。 **参照：**「カレンダー / 時計の日時を変更する」(➡ P.27)
③	夜間A 1	夜間モード A-1 が設定されたときに表示される
	夜間A 2	夜間モード A-2 が設定されたときに表示される
	夜間A 3	夜間モード A-3 が設定されたときに表示される
	夜間B	夜間モード B が設定されたときに表示される
④	留守1	留守番モードが設定されたときに表示される
⑤	(ベルマーク)	時刻アラームが設定されたときに表示される
⑥	漢 カ 英 数	文字入力時のモードが表示される
⑦	マイク	ハンズフリー通話が設定されたときに表示される
⑧	(音量バー)	各種音量の大きさを調節すると表示が変わる
⑨	S	留守番サイレントモード(第５章の「留守番モニタ(居留守応答)」(➡ P.218))のときに表示される
⑩	(鍵マーク)	キーロック状態のときに表示される

≪電話帳一覧≫ ◆
0000: 本社
0001: 田中携帯
0002: 支社

画面の右上に◆が表示されたときは、(カーソルキー)で画面をスクロールして、表示されていない項目を表示することができます（例：電話帳一覧画面）。

共通 :0002 ▶
01234567
支社
ｼｼｬ

画面の右上に ▶ が表示されたときは、(カーソルキー)で次ページを表示することができます（例：電話帳詳細）。電話帳詳細画面では、電話番号 2、電話番号 3 が表示されます（1 つの電話帳項目に複数の電話番号が登録されている場合）。

MEMO

名称が長くて、画面に表示できない部分がある場合は、右端に「>>」が表示されます。(ボタン)（拡張表示）または(カーソルキー)を押すと、画面が切り替わり、残りの部分を表示することができます。

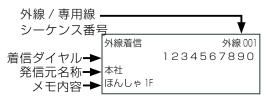
ディスプレイ画面の例

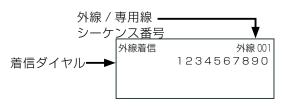
■ 通常表示（待機状態）

■ 外線ダイヤル入力中

■ 外線発信中：電話帳に名前の登録があるとき

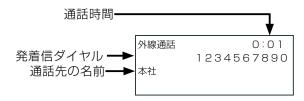
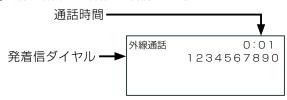
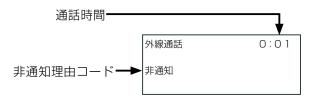
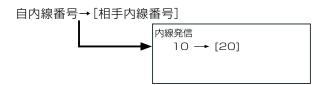
■ 外線発信中：電話帳に名前の登録がないとき

■ 外線着信中：電話帳に名前の登録があるとき

※メモ内容の部分は、ボイスワープ表示になることもあります。

■ 外線着信中：電話帳に名前の登録がないとき

※電話会社が提供する番号表示サービス契約回線からの着信時は、相手の電話番号が「着信ダイヤル」として表示されます。

■ 外線着信中：非通知のとき

※非通知理由コードには、「表示圏外」「非通知」「公衆電話」のいずれかが表示されるか、コードなし（なにも表示されない）の場合があります。

■ 外線通話中：電話帳に名前の登録があるとき

■ 外線通話中：電話帳に名前の登録がないとき

■ 外線通話中：非通知のとき

■ 内線発信中：相手内線に内線名称が登録されていないとき

■ 内線着信中：相手内線に内線名称が登録されていないとき

■ 内線着信中：相手内線に内線名称が登録されているとき

MEMO

- 内線名称の登録については「内線名称の登録」（➡P.35）を参照してください。
- 電話帳の登録については「1-7 電話帳の登録」（➡ P.37）を参照してください。
- ボイスワープについては第４章の「ボイスワープを利用する」（➡ P.177）を参照してください。

ランプ表示

ランプの種類	ランプのつきかた（色）	ランプの意味（電話機の状態）
着信ランプ	速点滅（※）	時刻アラーム鳴動中。または、 以下のような着信あり ● 外線一般系着信 ● 外線個別着信 ● 専用線着信 ● 内線着信 ● ドアホン着信 ● 強制転送による着信
	遅点滅（※）	不応答着信（お知らせ）、FAX 着信（お知らせ）
	点灯（※）	録音表示（ボイスメールメッセージありのとき）
	点灯（7色連続切り替え表示）	ハウラ音が鳴っている
	速点滅（7 色）	セーフティ威嚇中、緊急地震速報
外線ランプ	点灯（緑）	自分の電話機で使用中
	点灯（赤）	他の電話機で使用中、回線使用中、使用制限中
	速点滅（赤）	外線着信中
	間隙速点滅（緑）	保留警告音が鳴っている。または 強制転送された着信あり
	間隙速点滅（赤）	秘話解除中
	中点滅（緑）	自分の電話機で保留した通話あり
	中点滅（赤）	他の電話機で保留した通話あり。または、 強制転送した通話あり（操作した電話機の表示）
	間隙点灯 2（緑）	着信ウェイト中（応答操作した電話機の表示）
	間隙点灯 2（赤）	着信ウェイト中（応答操作していない電話機の表示）
スピーカランプ	点灯（赤）	スピーカ受話中

（※）色について記載していない着信ランプは、8 種類の色パターンから 1 つを選択できます。着信ランプの切替方法については「着信ランプ表示色の設定（着信種別や各種状態別）」（➡ P.58）を参照してください。

MEMO

- 速点滅：
  0.1 秒間隔で点滅する光りかたを示しています。
- 遅点滅：
  0.5 秒間隔で点滅する光りかたを示しています。
- 間隙点灯 2：
  0.7 秒点灯のあと、0.1 秒間隔で 1 回点滅
- 間隙速点滅：
  1 秒ごとに速点滅が 2 回ずつ点滅
- 中点滅：
  0.25 秒間隔で点滅

音の種類一覧

種類			音	発生源
発信音	外線発信音		ツーーー	受話器またはスピーカ
	内線発信音		ツーツー…	
呼出音 (➡P.363)	音声呼び		プー	
	信号呼び		プルルルル・・・プルルルル…	
着信音	内線着信音	音声呼び	プープープー	スピーカ
		信号呼び	プルプル・・・プルプル…	
	外線、PBX 経由外線		プルルルル・・・プルルルル…	
	DIL、DID、強制転送 PBX 経由の DIL、DID		プルプルプル・・・プルプルプル…	
	PBX 経由内線		プルプル・・・プルプル…	
	通話中の外線		着信音と同じ	
	通話中のドアホン		ピンポーン （通常のドアホン着信時とは異なる）	
話中音			ツーッツーッ…	受話器またはスピーカ
登録完了音			ピー	
保留音			メロディ♪	受話器またはスピーカ
保留警告音			ピリリリ・・・ピリリリ…	スピーカ
エラー音			ピーピー	受話器またはスピーカ
付加番号 DID の内線発信音			プププププ・・・	外線に送出
付加番号 DID の話中音			プップーッ（3 回繰り返し）	
付加番号 DID の呼出音			プルルルル・・・プルルルル…	

※上の表の「…」は、音の繰り返しを示しています。「・・・」は音が鳴っていない状態を示しています。

システム管理電話機と一般ユーザ電話機

電話機は工事設定により、システム管理者が使用するシステム管理電話機と、それ以外の利用者が使用する一般ユーザ電話機に分かれています。

■システム管理電話機
システム共通の設定や、データの表示・変更などができます。

■一般ユーザ電話機
自身の電話機についての設定やデータの表示・変更などができます。

それぞれのタイプの電話機から設定できる機能や操作は、あらかじめ決まっています。
例えば、システムで共通に使用する共通電話帳への登録は、システム管理電話機からは行うことができますが、一般ユーザ電話機からは登録することはできません。

※システム管理電話機の台数を増やしたい場合は、システム管理電話機からサービスメニューを使って、一般ユーザ電話機をシステム管理電話機として設定変更することができます（待受画面で、(確定)→［0：その他］→［2：システム設定］→［1：システム管理電話機設定］）。

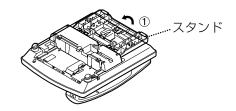
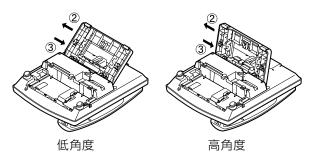
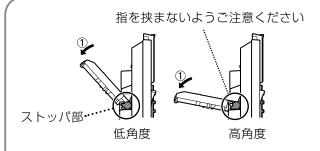
1-2 電話機の調節

ここでは、多機能電話機の角度の調節方法や、パネルの取り付け、取外し方法、音量の調節方法、電話機のディスプレイの調節方法について説明します。

電話機の角度調節

電話機本体の角度調節

本電話機は、低角度と高角度の 2 段階で角度調節ができます。

1. スタンドの角度を合わせる

2. スタンドを固定する

- スタンドを②の方向にスライドさせ、固定します。スタンドを戻すときは、スタンドを③の方向にスライドさせて引き上げます。

- ご使用状況に合わせ、スタンドを①の方向に引き上げ、ストッパ部を上図の位置に合わせます。
（無理に引き上げると破損する恐れがあります。）

ディスプレイの角度調節

1. ディスプレイの端に指をかける

ディスプレイ

指をかける

2. ①方向に持ち上げ、好みの角度で止める

①

3. 角度を小さくする場合は②方向に押して、好みの角度で止める（②方向の場合は段階的にカチッと止まります）

電話機のパネル・記入シートの取り付けと取り外し

多機能電話機

電話機のボディカラーの好みに合わせて、別シートと交換できます。別シートは、添付品です。（2 種類）
シートの交換の際は、ラインコードを抜いてから作業を行ってください。

■操作パネル

1. ディスプレイの角度は現状のままにして、操作パネルのツメに指をかける

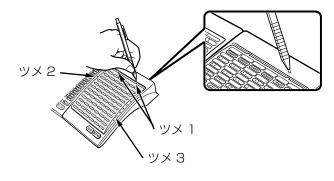
2. 操作パネルを①方向に持ち上げて取り外す

3. シートを取り外す

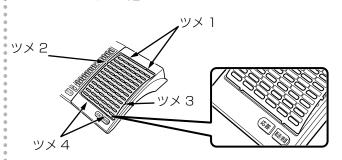
操作パネルとシートを取り付けるときは
「手順 3 でシートをかぶせる」→「手順 2 で操作パネルを②方向に倒す」
→「カチッ音がするまで押さえる」

集中受付装置（DSS）

取り外しかた

1. カバー右上部の穴にシャープペンなどの先を軽く差し込む
2. カバーと記入シートを取り外す

※ カバー全体を下方向にやや弓形に曲げて、ツメ 1（2 か所）、ツメ 2、ツメ 3 の順に外し、カバーを取り外してください。

取り付けかた

1. 記入シートを元の位置に戻す
2. カバーのツメ 4 を差し込み、カバーをやや弓形に曲げる
3. ツメ 3 →ツメ 2 →ツメ 1 の順に下からツメをはめ込む

音量の調節

ここでは、電話機の音量調節について、以下のことを説明します。

- 「受話音量を調節する」（➡ P.10）
- 「スピーカ受話音量を調節する」（➡ P.11）
- 「着信音量を調節する」（➡ P.12）
- 「側音量を調節する（側音量調節）」（➡ P.13）
- 「ボタンを押したときの音を調節する（ボタン押下音切替）」（➡ P.14）

MEMO

音量調節は、電話機のサービスメニューを使って調節できます。サービスメニューについては、「1-3 サービスメニューの使いかた」（➡ P.17）を参照してください。

受話音量を調節する

受話器から聞こえる音量を調節することができます。

通話中に受話音量を調節するには

1 受話器で通話中

2 ◎を押して受話音量を調節する

- ◎を押すと、受話器から聞こえる音声が大きくなります。
- ◎を押すと、受話器から聞こえる音声が小さくなります。

待受中に受話音量を調節するには

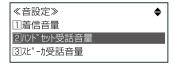
1 待受画面で、(確定)を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 ◎で [8：音設定] を選択して、(確定)を押す

システム管理電話機では [8：音設定]、一般ユーザ電話機では [7：音設定] を選択します。

≪メニュー≫
6オートダイヤル
7応答ガイダンス管理
8音設定

3 ◎で [2：ハンドセット受話音量] を選択して、(確定)を押す

4 ◎を押して受話音量を調節する

≪ハンドセット受話音量≫
△：大 ▽：小
レベル：9 <3-16>

- 大きくする場合は◎を押します。
- 小さくする場合は◎を押します。
- お買い上げ時は「レベル 9」です。
- 調節範囲はレベル 3（最小）～レベル 16（最大）です。
- カールコードレス電話機（CL）（親機）の場合は、調節範囲はレベル 1（最小）～レベル 3（最大）です。

5 (確定)を押す

受話音量が設定され、「音設定」メニュー画面に戻ります。

スピーカ受話音量を調節する

スピーカから聞こえる音量を調節することができます。

1 待受画面で、確定を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 で［8：音設定］を選択して、確定を押す

システム管理電話機では［8：音設定］、一般ユーザ電話機では［7：音設定］を選択します。

3 で［3：スピーカ受話音量］を選択して、確定を押す

4 を押してスピーカ受話音量を調節する

≪ｽﾋﾟｰｶ受話音量≫
△：大 ▽：小
ﾚﾍﾞﾙ:5 <1-8>

- 大きくする場合はを押します。
- 小さくする場合はを押します。
- お買い上げ時は「レベル 5」です。
- 調節範囲はレベル 1（最小）～レベル 8（最大）です。

5 確定を押す

スピーカ受話音量が設定され、「音設定」メニュー画面に戻ります。

MEMO

- スピーカ受話中にを押して、スピーカ受話音量を調節することもできます。

第1章 電話機の取り扱い

着信音量を調節する

外線、内線、ドアホンなどからの着信音量を調節することができます。

外線着信の場合

1 待受画面で、(確定)を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 で［8：音設定］を選択して、(確定)を押す

システム管理電話機では［8：音設定］、一般ユーザ電話機では［7：音設定］を選択します。

3 で［1：着信音量］を選択して、(確定)を押す

4 で［1：外線着信音量］を選択して、(確定)を押す

5 を押して外線着信音量を調節する

≪外線着信音量≫
△：大 ▽：小
ﾚﾍﾞﾙ:9 <4-16>

- 大きくする場合はを押します。
- 小さくする場合はを押します。
- お買い上げ時は「レベル 9」です。
- 調節範囲はレベル 4（最小）～レベル 16（最大）です。

6 (確定)を押す

外線着信音量が設定され、「着信音量」メニュー画面に戻ります。

> **MEMO**
> 着信音が鳴っているときにを押して、着信音量を調節することもできます。

内線着信の場合

1 上記の「外線着信の場合」の手順 1 ～ 3 の操作をする

2 ［2：内線着信音量］を選択して、(確定)を押す

3 を押して内線着信音量を調節する

≪内線着信音量≫
△：大 ▽：小
ﾚﾍﾞﾙ:9 <4-16>

- 大きくする場合はを押します。
- 小さくする場合はを押します。
- お買い上げ時は「レベル 9」です。
- 調節範囲はレベル 4（最小）～レベル 16（最大）です。

4 (確定)を押す

内線着信音量が設定され、「着信音量」メニュー画面に戻ります。

> **MEMO**
> 着信音が鳴っているときにを押して、着信音量を調節することもできます。

ドアホン着信の場合

1 「外線着信の場合」(➡ P.12)の手順 1 〜 3 の操作をする

2 [十字キー]で [3 : ドアホン着信音量] を選択して、[確定]を押す

3 [上下キー]を押してドアホン着信音量を調節する

≪ドアホン着信音量≫
△ : 大 ▽ : 小
レベル :9 <4-16>

- 大きくする場合は[上キー]を押します。
- 小さくする場合は[下キー]を押します。
- お買い上げ時は「レベル 9」です。
- 調節範囲はレベル 4(最小)〜レベル 16(最大)です。

4 [確定]を押す

ドアホン着信音量が設定され、「着信音量」メニュー画面に戻ります。

側音量を調節する(側音量調節)

側音量とは、通話中に自分の音声が受話器から自分の耳に入ってくる音のことです。
※この設定は、ISDN 回線の場合のみ有効です。アナログ回線の通話では、側音量は自動的にオフになります。

1 待受画面で、[確定]を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 [十字キー]で [8 : 音設定] を選択して、[確定]を押す

システム管理電話機では [8 : 音設定]、一般ユーザ電話機では [7 : 音設定] を選択します。

≪メニュー≫
6オートダイヤル
7応答ガイダンス管理
8音設定

3 [十字キー]で [6 : 側音量] を選択して、[確定]を押す

システム管理電話機では [6 : 側音量]、一般ユーザ電話機では [5 : 側音量] を選択します。

4 [上下キー]を押して側音量を調節する

≪側音量≫
△ : 大 ▽ : 小
レベル :7 <1-8>

- 大きくする場合は[上キー]を押します。
- 小さくする場合は[下キー]を押します。
- お買い上げ時は「レベル 7」です。
- 調節範囲はレベル 1(最小)〜レベル 8(最大)です。

5 [確定]を押す

側音量が設定され、「音設定」メニュー画面に戻ります。

ボタンを押したときの音を調節する(ボタン押下音切替)

ボタンを押したときの音を鳴らすか鳴らさないか、ON/OFF で設定できます。

セット / 解除のしかた

1 待受画面で、(確定)を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 (◇)で [8 : 音設定] を選択して、(確定)を押す

システム管理電話機では [8 : 音設定]、一般ユーザ電話機では [7 : 音設定] を選択します。

3 (◇)で [5 : ボタン押下音設定] を選択して、(確定)を押す

システム管理電話機では [5 : ﾎﾞﾀﾝ押下音設定]、一般ユーザ電話機では [4 : ﾎﾞﾀﾝ押下音設定] を選択します。

4 (◇)を押して、ボタン押下音の [ON] または、[OFF] を選択して、(確定)を押す

- 現在設定されている所に「＊」が表示されます。
- お買い上げ時は「ON」です。
- 設定できた場合は、登録完了音が鳴ります。
- ボタン押下音の切替が設定され、「音設定」メニュー画面に戻ります。

第1章 電話機の取り扱い

ディスプレイ表示の調整

ディスプレイの濃淡を調整する（LCD コントラスト調整）

電話機のディスプレイのコントラストを 8 段階で調節することができます。

1　待受画面で、（確定）を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2　で [9：表示設定] を選択して、（確定）を押す

システム管理電話機では [9：表示設定]、一般ユーザ電話機では [8：表示設定] を選択します。

3　で [3：表示形式設定] を選択して、（確定）を押す

一般ユーザ電話機では、「表示設定」メニュー画面が表示されないので、手順 4 へ進みます。

4　で [5：LCD コントラスト調整] を選択して、（確定）を押す

システム管理電話機では [5：LCD コントラスト調整]、一般ユーザ電話機では [1：LCD コントラスト調整] を選択します。

5　を押して LCD コントラストを調整する

≪ LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整≫
△：濃 ▽：薄
ﾚﾍﾞﾙ:5 <1-8>

- を押すとディスプレイ画面が濃くなります。
- を押すとディスプレイ画面が薄くなります。
- お買い上げ時は「レベル 5」です。
- 調節範囲はレベル 1（薄）～レベル 8（濃）です。

6　（確定）を押す

LCD コントラストが調整され、「表示形式設定」メニュー画面に戻ります。

バックライトを設定する(LCD バックライト点灯調整)

ディスプレイのバックライトは、3 つの状態に変更できます。

バックライトの状態	内容
都度点灯	電話をかけたり、受けたりするときなどに一時的に点灯します。(待機中は消灯)
常時点灯	使用中または待機中、常に点灯状態です。
常時消灯	使用中または待機中、常に消灯状態です。

1 待受画面で、確定を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 で [9:表示設定] を選択して、確定を押す

システム管理電話機では [9:表示設定]、一般ユーザ電話機では [8:表示設定] を選択します。

3 で [3:表示形式設定] を選択して、確定を押す

一般ユーザ電話機では、「表示設定」メニュー画面が表示されないので、手順 4 へ進みます。

4 で [6:LCD バックライト設定] を選択して、確定を押す

システム管理電話機では [6:LCD バックライト設定]、一般ユーザ電話機では [2:LCD バックライト設定] を選択します。

5 を押してバックライトの点灯の設定を選択する

- お買い上げ時は都度点灯です。
- バックライトの設定は、「都度点灯」、「常時点灯」、「常時消灯」のいずれかを選択します。

6 確定を押す

- LCD バックライト設定が設定され、「表示形式設定」メニュー画面に戻ります。
- 設定できた場合は、登録完了音が鳴ります。

1-3 サービスメニューの使いかた

サービスメニューに使用するボタンの使いかた

システム短縮ダイヤル、発信履歴、着信履歴などの各種登録・情報参照をメニュー選択から操作することができます。サービスメニューは、次のボタンを使用して操作できます。

ボタン	操作のタイミング	操作内容	説明
確定 または ▲	待受状態	メインメニューの表示	サービスメニューのメインメニューを表示します。
▼	待受状態	電話帳カナ検索画面の表示	電話帳のカナ検索画面を表示します。
▲▼	メニュー操作中	項目の選択とデータの検索	メニュー内の項目の選択とデータの検索に使用します。
確定	メニュー操作中	設定・登録・変更の決定	設定・登録・変更の内容を決定します。 漢字入力の変換最終決定に使用します。
◀▶	待受状態	発信履歴 / 着信履歴の表示	▶ボタンを押すと発信履歴を表示します。 ◀ボタンを押すと着信履歴（共通着信履歴）を表示します。
	文字入力中	文字入力時のカーソル移動	文字入力時のカーソルの移動、変換対象の変更に使用します。
フラッシュ	文字入力中	文字の削除	文字入力時に、入力した文字を 1 文字削除、またカーソル位置の 1 文字を削除するときに使用します。長押しで入力した文字をすべて削除することもできます。
短 縮	文字入力中	入力切替 特殊コード入力	文字入力する場合、入力モード（「漢字」「カナ」「（全角 / 半角）英字」「（全角 / 半角）数字」）の切り替えに使用します。 電話番号を入力する場合、「PB 信号」「ポーズ」などを入力するときに使用します。
保 留	待受状態	登録モード	さらにダイヤルボタンなどを押すと、対応したメニュー画面が表示されます。付録 A の「A-4 登録モード一覧表」（➡ P.368）を参照してください。
	メニュー操作中	メニューの上位画面へ戻る	サービスメニューを操作中、1 つ前のメニュー画面に戻ります。（メインメニューを除く）
スピーカ	メニュー操作中	サービスメニューの終了	サービスメニューを終了して、待機画面に戻ります。

※上記ボタンのほか、メニュー番号に対応するダイヤルボタンを使って、メニュー項目を選択することができます。

MEMO

サービスメニューの画面が表示されているときに、機 能 を押したあと、未登録のオートダイヤルボタン を押すと、表示中のメニュー画面を**メニューショートカットボタン**として割り付けることができます。 にメニューショートカットを登録しておくと、待機中に該当する （メニューショートカット）を押すことで、そのボタンに登録された任意のメニュー画面を 1 つの操作で表示することができ、メニュー操作の各階層をショートカットで起動することができます。

メニューショートカットに登録できるメニュー画面については、付録 A の「A-8 メニューショートカット一覧表」（➡ P.377）を参照してください。

サービスメニューの構成

サービスメニューのメインメニューおよびサブメニューのメニュー項目を以下に示します。
（ページは、詳細説明が記載されているページです。）

- 待受画面で確定を押すと、メインメニュー画面が表示されます。
- ▽で後続の項目を、△で前の項目を表示します。また、保留を押すと1つ前のメニュー項目画面に戻ります。また、フラッシュで入力文字を削除することができます。
- 各メニューを選択するには、メニューから▽△で項目を選択して確定を押すか、または各メニューの先頭に表示されるメニュー番号を押します。
- 何も押さずに一定時間経つと、待受画面に戻ります。
- 特定のメニュー画面はメインメニューを経由せずにメニューショートカットボタンから1つの操作で表示することができます（前ページのメモを参照）。

一般ユーザ電話機のサービスメニュー

メインメニュー

≪ﾒﾆｭｰ≫
1 履歴（発信 / 着信）
2 電話帳
3 内線一覧
4 転送設定
5 録音関連設定
6 ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ
7 音設定
8 表示設定
9 その他

サブメニュー

1 ≪履歴（発信／着信）≫

項目	ページ	備考
1 発信履歴	➡P.66	※1
2 共通着信履歴		※1
3 個別着信履歴		

2 ≪電話帳≫

項目	ページ	備考
1 新規登録	➡P.37	※2
2 一覧表示		※2
3 番号検索	➡P.65	※2
4 電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ	➡P.49	

3 ≪内線一覧≫ ➡P.149

項目	ページ
1 一覧表示	
2 内線検索	

4 ≪転送設定≫

項目	ページ
1 不在転送設定	➡P.110
2 話中転送設定	➡P.124
3 無応答転送設定	➡P.115

5 ≪録音関連設定≫

項目	ページ
1 ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ録音通知	➡P.242
2 ﾒｯｾｰｼﾞの一括削除	
3 ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ暗証番号	➡P.210

6 ≪ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ≫

項目	ページ
1 ﾌｧﾝｸｼｮﾝ割付	➡P.28
2 ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ割付	➡P.33
3 DSS 割付	➡P.34
4 ﾜﾝﾀｯﾁ割付	➡P.31
5 電話帳ﾜﾝﾀｯﾁ割付	➡P.30
6 割付ｸﾘｱ	➡P.29

7 ≪音設定≫

項目	ページ
1 着信音量	➡P.12
2 ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄ受話音量	➡P.10
3 ｽﾋﾟｰｶ受話音量	➡P.11
4 ﾎﾞﾀﾝ押下音設定	➡P.14
5 側音量	➡P.13
6 各種音種	➡P.55

8 ≪表示形式設定≫

項目	ページ
1 LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整	➡P.15
2 LCD ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ設定	➡P.16

9 ≪その他≫

項目	ページ
1 ｼｽﾃﾑ情報	
2 ｼｽﾃﾑ設定	➡P.87
3 電話機	➡P.193
4 ﾈｯﾄﾜｰｸ	➡P.199
5 ｺﾝﾃﾝﾂ設定	➡P.185

※1: 共通着信履歴の削除はシステム管理電話機のみが可能
※2: 一般ユーザ電話機では自内線のみ登録・変更・削除可能

システム管理電話機のサービスメニュー

メインメニュー

≪ﾒﾆｭｰ≫
1履歴（発信 / 着信）
2電話帳
3内線一覧
4転送設定
5録音関連設定
6ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ
7応答ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ管理
8音設定
9表示設定
0その他

サブメニュー

1 ≪履歴（発信／着信）≫
- 1発信履歴 ➡P.66 ※1
- 2共通着信履歴 ※1
- 3個別着信履歴

2 ≪電話帳≫
- 1新規登録 ➡P.37
- 2一覧表示
- 3番号検索 ➡P.65
- 4電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ ➡P.49

3 ≪内線一覧≫ ➡P.149
- 1一覧表示
- 2内線検索

4 ≪転送設定≫
- 1不在転送設定 ➡P.110
- 2話中転送設定 ➡P.124
- 3無応答転送設定 ➡P.115
- 4圏外転送設定 ➡P.121
- 5外線転送設定 ➡P.102
- 6DGL 無応答転送設定 ➡P.118
- 7MSA 無応答転送設定 ➡P.118
- 8一般無応答転送設定 ➡P.118
- 9転送ﾘﾓｺﾝ用暗証番号 ➡P.128

5 ≪録音関連設定≫
- 1留守番設定 ➡P.214
- 2ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ録音通知 ➡P.242
- 3ﾒｯｾｰｼﾞの一括削除
- 4ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ暗証番号 ➡P.210
- 5ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ属性 ➡P.240

6 ≪ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ≫
- 1ﾌｧﾝｸｼｮﾝ割付 ➡P.28
- 2ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ割付 ➡P.33
- 3DSS 割付 ➡P.34
- 4ﾜﾝﾀｯﾁ割付 ➡P.31
- 5電話帳ﾜﾝﾀｯﾁ割付 ➡P.30
- 6割付ｸﾘｱ ➡P.29

7 ≪応答ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ管理≫
- 1転送元ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ設定
- 2転送先ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ設定
- 3ﾕｰｻﾞｶﾞｲﾀﾞﾝｽ管理 ➡P.200

8 ≪音設定≫
- 1着信音量 ➡P.12
- 2ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄ受話音量 ➡P.10
- 3ｽﾋﾟｰｶ受話音量 ➡P.11
- 4ﾒﾛﾃﾞｨ設定 ➡P.56 ※2
- 5ﾎﾞﾀﾝ押下音設定 ➡P.14
- 6側音量 ➡P.13
- 7各種音種 ➡P.55

9 ≪表示設定≫
- 1着信ﾗﾝﾌﾟ ➡P.58
- 2履歴表示設定
- 3表示形式設定 ➡P.15

0 ≪その他≫
- 1ｼｽﾃﾑ情報
- 2ｼｽﾃﾑ設定 ➡P.87
- 3ｶﾚﾝﾀﾞｰ / 時計設定 ➡P.138
- 4電話機 ➡P.193
- 5ﾈｯﾄﾜｰｸ ➡P.199
- 6ｾｰﾌﾃｨ設定
- 7名称設定 ➡P.191
- 8ｺﾝﾃﾝﾂ設定 ➡P.185
- 9手動ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ➡P.xxx

（網掛け）：一般電話機で操作できない項目
（網掛け項目：メインメニューの7応答ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ管理、4転送設定の4〜9、5録音関連設定の1・5、7応答ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ管理の全項目、8音設定の4、9表示設定の1・2、0その他の3・6・7・9）

※1：共通着信履歴の削除はシステム管理電話機のみが可能

※2：メロディ設定は、着信と保留の曲目を設定します。保留音種は保留メロディ、外部音源などの音源を選択します。

1-4 文字入力方法

電話帳の名前を登録する場合など、電話機から文字入力が必要なときがあります。
ここでは、以下の漢字、カタカナ、英字、数字の文字入力の操作について説明します。

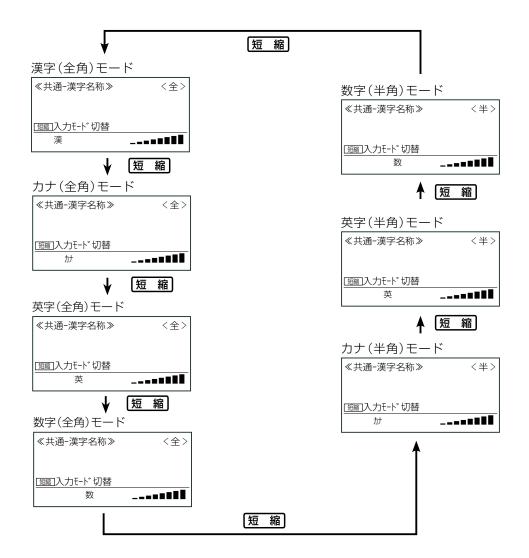
- 「文字入力モードの切り替え」(➡ P.20)
- 「文字の入力方法」(➡ P.21)
- 「濁点・半濁点の入力方法」(➡ P.21)
- 「文字入力ボタン一覧」(➡ P.22)
- 「漢字(全角)の入力方法」(➡ P.23)
- 「文字の修正 / 挿入 / 削除方法」(➡ P.24)
- 「カナ(半角)の入力方法」(➡ P.25)

文字入力モードの切り替え

漢字(全角)入力のできる画面では、英字や数字を入力するために入力モードを切り替えることができます。例えば、漢字の名前の途中にアルファベットや数字、半角文字を入力する必要がある場合は、入力モードを切り替えます。

[短縮]を押すごとに、下図のように入力モードが切り替わります。ただし、各画面で無効な入力モードの場合は、その無効な入力モードがスキップされます。

1行目の右端の表示と、5行目のピクト表示で現在の入力モードを確認できます。

・<全>:全角、<半>:半角　・ピクト表示:漢、ｶﾅ、英、数

文字の入力方法

文字を入力するには、入力画面で入力モードを選択し、ダイヤルボタンを押して文字を入力します。
入力モードによって、入力できる文字が異なります。
同じ文字を続けて入力する場合は、[▶]を押してカーソルを右移動してから 2 文字目を入力します。

例：[サDEF3]を押すたびに、文字が次のように順番に表示されます。

● **漢字モードの場合**

1 回目 2 回目 3 回目 4 回目 5 回目
さ → し → す → せ → そ

● **カタカナ（全角）モードの場合**

1 回目 2 回目 3 回目 4 回目 5 回目
サ → シ → ス → セ → ソ

● **英字（全角）モードの場合**

1 回目 2 回目 3 回目 4 回目 5 回目 6 回目
Ｄ → Ｅ → Ｆ → ｄ → ｅ → ｆ

● **数字（全角）モードの場合**

数字モードの場合は、押した回数分同じ数字が入力されます。

1 回目 2 回目 3 回目 4 回目
３ → ３３ → ３３３ →３３３３

● **カタカナ（半角）モードの場合**

1 回目 2 回目 3 回目 4 回目 5 回目
ｻ → ｼ → ｽ → ｾ → ｿ

● **英字（半角）モードの場合**

1 回目 2 回目 3 回目 4 回目 5 回目 6 回目
D → E → F → d → e → f

● **数字（半角）モードの場合**

数字モードの場合は、押した回数分同じ数字が入力されます。

1 回目 2 回目 3 回目 4 回目
3 → 33 → 333 → 3333

濁点・半濁点の入力方法

1 つ前の入力文字に結合される濁点、半濁点を入力するには、[ﾞ0]または[＊]を使います。

例：ば、ぱ

ば： [ハMNO6] 1 回 → [ﾞ0] 4 回 または [ハMNO6] 1 回 → [＊] 1 回

ぱ： [ハMNO6] 1 回 → [ﾞ0] 5 回 または [ハMNO6] 1 回 → [＊] 2 回

独立した 1 文字分の濁点、半濁点を入力する場合も、[ﾞ0] または [＊] を使います。

例：う゛

う゛： [ア1] 3 回 → [ﾞ0] 4 回 または [ア1] 3 回 → [＊] 1 回

文字入力ボタン一覧

各ダイヤルボタンには、それぞれ複数の文字が割り当てられており、ボタンを押した回数により表示文字が切り替わります。また、入力モードによって、各ボタンで入力できる文字が変わります。

例：漢字モードで［カ ABC 2］を続けて押したときに表示される文字

押した回数　　：1回 → 2回 → 3回 → 4回 → 5回 → 6回・・・・
表示される文字：か → き → く → け → こ → か・・・・

※文字はすべて全角で入力されます。

各ダイヤルボタンで入力できる文字と、文字入力時に使用するボタンについて、下表に示します。

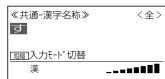
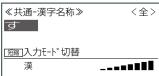
ボタン操作	入力モード	表示される文字
ア 1	漢字(全)	あいうえお　ぁぃぅぇぉ
	カナ(全)	アイウエオ　ァィゥェォ
	英字(全)	─
	数字(全)	1
	カナ(半)	ｱｲｳｴｵ　ｧｨｩｪｫ
	英字(半)	─
	数字(半)	1
カ ABC 2	漢字(全)	かきくけこ
	カナ(全)	カキクケコ
	英字(全)	ＡＢＣ ａｂｃ
	数字(全)	2
	カナ(半)	ｶｷｸｹｺ
	英字(半)	ABC abc
	数字(半)	2
サ DEF 3	漢字(全)	さしすせそ
	カナ(全)	サシスセソ
	英字(全)	ＤＥＦ ｄｅｆ
	数字(全)	3
	カナ(半)	ｻｼｽｾｿ
	英字(半)	DEF def
	数字(半)	3
タ GHI 4	漢字(全)	たちつてと　っ
	カナ(全)	タチツテト　ッ
	英字(全)	ＧＨＩ ｇｈｉ
	数字(全)	4
	カナ(半)	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ
	英字(半)	GHI ghi
	数字(半)	4
ナ JKL 5	漢字(全)	なにぬねの
	カナ(全)	ナニヌネノ
	英字(全)	ＪＫＬ ｊｋｌ
	数字(全)	5
	カナ(半)	ﾅﾆﾇﾈﾉ
	英字(半)	JKL jkl
	数字(半)	5
ハ MNO 6	漢字(全)	はひふへほ
	カナ(全)	ハヒフヘホ
	英字(全)	ＭＮＯ ｍｎｏ
	数字(全)	6
	カナ(半)	ﾊﾋﾌﾍﾎ
	英字(半)	MNO mno
	数字(半)	6
マ PQRS 7	漢字(全)	まみむめも
	カナ(全)	マミムメモ
	英字(全)	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ
	数字(全)	7
	カナ(半)	ﾏﾐﾑﾒﾓ
	英字(半)	PQRS pqrs
	数字(半)	7

ボタン操作	入力モード	表示される文字
ヤ TUV 8	漢字(全)	やゆよ　ゃゅょ
	カナ(全)	ヤユヨ　ャュョ
	英字(全)	ＴＵＶ ｔｕｖ
	数字(全)	8
	カナ(半)	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ
	英字(半)	TUV tuv
	数字(半)	8
ラ WXYZ 9	漢字(全)	らりるれろ
	カナ(全)	ラリルレロ
	英字(全)	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ
	数字(全)	9
	カナ(半)	ﾗﾘﾙﾚﾛ
	英字(半)	WXYZ wxyz
	数字(半)	9
ワヲン 0	漢字(全)	わをん　゛゜ー・！？、。（スペース）
	カナ(全)	ワヲン　゛゜ー・！？、。（スペース）
	英字(全)	＠．～／：＿！？’－＆（）”＄％＋，；＜＝＞［￥］＾｀｛｜｝「」＊＃（スペース）
	数字(全)	0
	カナ(半)	ﾜｦﾝ ﾞﾟ -･!?､ .(ｽﾍﾟｰｽ)
	英字(半)	@.￣/:_!?'-&()"$%+,;＜＝＞[￥]^`{¦}｢｣*#(ｽﾍﾟｰｽ)
	数字(半)	0
＊	漢字(全)	゛゜
	カナ(全)	゛゜
	英字(全)	＊
	数字(全)	＊
	カナ(半)	ﾞﾟ
	英字(半)	*
	数字(半)	*
＃	漢字(全)	─
	カナ(全)	─
	英字(全)	＃
	数字(全)	＃
	カナ(半)	─
	英字(半)	#
	数字(半)	#
フラッシュ	─	文字削除（ボタン長押しで全削除）
短縮	電話番号入力モード	P、E、-、[] (特殊コード)
	電話番号入力モード以外	文字入力モード切替
確定	─	文字確定

漢字(全角)の入力方法

漢字を入力するときの操作を説明します。
ここでは、電話帳の登録画面を例に説明します。電話帳を登録するまでの操作は「1-7 電話帳の登録」(➡ P.37)を参照してください。

■入力例：「鈴木」と登録

1 サDEF3 を 3 回押して「す」を入力する

2 ◯▶ を押してカーソルを移動する

3 サDEF3 を 3 回押し、ワヲン0 を 4 回(または ＊ を 1 回)押して「ず」を入力する

4 カABC2 を 2 回押して「き」を入力する

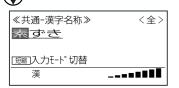
5 ◯▼ を押して漢字に変換する

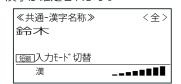
文節が漢字変換されます。

6 続けて ◯▼ を押す

反転部分の次候補が表示されます。

7 ◀◯▶ を押して文節を変更する

「す」、「すず」だけの候補を表示させたい場合は、◀◯▶ を押して変換する範囲(文節)を変更し、再度 ◯▼ を押します。

8 希望する漢字が表示されたら 確定 を押す

漢字が確定されます。

MEMO

- 一度に変換可能な文字数は全角 15 文字です。
- ◀◯▶ で、変換する文字範囲を変更できます。
- 短縮 で文字入力モードを切り替えます。
- 入力できる文字については、「文字入力ボタン一覧」(➡ P.22)を参照してください。
- 表示された候補の次候補を表示させたいときは ◯▼ を押してください。

第1章 電話機の取り扱い

文字の修正 / 挿入 / 削除方法

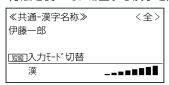
■修正例：伊東一郎 → 伊藤一郎に修正

1 を押して文字を修正 / 挿入 / 削除する位置にカーソルを移動する

2 フラッシュ を押す

カーソルの部分の文字が削除されます。

3 漢字を入力する

漢字の入力例で行った、漢字の文節変換、確定方法を使って、希望する漢字を入力します。

MEMO

- 漢字名称の入力時に、カナ名称が未入力だった場合、漢字変換時に入力した全角かな文字を全て半角カナにした文字列が、カナ名称に自動的に反映されます。
  正式な読み仮名と違うときは、カナを修正します。

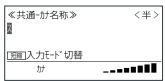
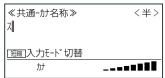
  例　入力かな：すずきいちろう
  → カナ名称：ｽｽﾞｷｲﾁﾛｳ
  　漢字名称：鈴木一郎

  ただし、カナ名称にすでに何らかの入力がある場合は反映されません。
- 文字入力中に、フラッシュ を長押しすると、入力した文字がすべて削除されます。

第1章 電話機の取り扱い

カナ(半角)の入力方法

カナを入力するときの操作を説明します。
ダイヤルボタンを押して、希望する文字が表示されたら、次の文字を入力するか ○▶ を押すと、その文字が採用されます。
ここでは、電話帳の登録画面を例に説明します。電話帳を登録するまでの操作は「1-7 電話帳の登録」(➡ P.37)を参照してください。

■ 入力例：ｽｽﾞｷｲﾁﾛｳ

1 [ｻ DEF 3]を 3 回押して「ｽ」を入力する

2 ○▶ を押してカーソルを移動する

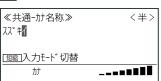
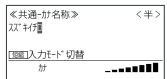
3 [ｻ DEF 3]を 3 回押して「ｽ」を入力し、[ﾜｦﾝ 0]を 4 回(または [＊]を 1 回)押して「ﾞ」を入力する

4 [ｶ ABC 2]を 2 回押して「ｷ」を入力する

5 [ｱ 1]を 2 回押して「ｲ」を入力する

6 [ﾀ GHI 4]を 2 回押して「ﾁ」を入力する

7 [ﾗ WXYZ 9]を 5 回押して「ﾛ」を入力する

8 [ｱ 1]を 3 回押して「ｳ」にする

9 (確定)を押す

カナ名称が設定され、「電話帳登録」メニュー画面に戻ります。

MEMO

- ◀○▶ でカーソルを移動し、カナを編集できます。
- [短　縮] で文字入力モードを切り替えます。
- 入力できる文字は、「文字入力ボタン一覧」(➡ P.22)を参照してください。

第1章 電話機の取り扱い

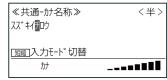
カナ入力の修正例

■**修正例**：スズキイタロウ→スズキイチロウ

1 文字入力画面で ◀ を押し、カーソルを「タ」に移動する

2 フラッシュ を押す

「タ」が削除されます。

3 タ GHI 4 を 2 回押す

4 確定 を押す

カナ名称が設定され、「電話帳登録」メニュー画面に戻ります。

1-5 カレンダー / 時計の設定

カレンダー / 時計の日時を変更する

システム共通のカレンダー / 時計の年、月、日、時刻を変更することができます。この設定はシステム管理電話機から行います。

1 待受画面で、確定を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 で [0 : その他] を選択して、確定を押す

3 で [3 : カレンダー / 時計設定] を選択して、確定を押す

4 で [1 : 日時変更] を選択して、確定を押す

5 0 〜 9 で、日時を入力する

≪日時変更≫
2013 年 10 月 24 日
00 時 00 分

	設定範囲	説明
年	13 〜 99	西暦の下 2 桁を入力します
月	01 〜 12	月を入力します
日	01 〜 31	日付を入力します。 月により設定範囲が変わります (うるう年対応)
時	00 〜 23	時刻を 24 時間制で入力します
分	00 〜 59	分を入力します

MEMO

２行目末尾の入力が完了すると、確定を押さなくても３行目にカーソルが移動します。

6 確定を押す

- 入力した日時でカレンダー / 時計が更新され、「カレンダー / 時計設定」メニュー画面に戻ります。
- 設定できた場合は、登録完了音が鳴ります。

MEMO

手順 1 〜 4 の代わりに 保 留 + 8 を押すこともできます(付録Ａの「A-4 登録モード一覧表」(➡P.368)を参照)。

待受画面のカレンダー / 時計表示

システム管理電話機の「表示形式設定」メニュー画面から、待機表示を縦倍、横倍、標準に変更したり、時刻表示を 24 時間制から１２時間制に変更したり、月日の表示を英語表示に変更することができます。

- 「表示形式設定」メニューの表示
  メインメニュー→ [9: 表示設定] → [3: 表示形式設定]
- 「表示形式設定」メニューでの操作
  [2: 待機表示設定] → [1 : 横倍]、[2 : 縦倍]、[3 : 標準] から選択
  [3: 時刻表示設定] → [1 :12 時間]、[2 :24 時間] から選択
  [4: 表示文字設定] → [1 : 漢字]、[2 : 英大文字]、[3 : 英小文字] から選択

< 横倍、12 時間制、漢字表示 >

内線 201
１０月２４日(木)
午後　９：００

< 縦倍、24 時間制、漢字表示 >

内線 201
10月24日(木)　21:00

< 標準、12 時間制、英小文字 >

内線 201
10／24 Thu pm09:00

1-6 電話機への機能の登録

オートダイヤルボタンに機能や番号を割り付ける

電話機ごとに［ ］に特定の機能や電話番号などを割り付けて使用することができます。初期設定では、上段の一番右側に［ ］（自己保留）が自動で割り付けられています。

オートダイヤルボタンに機能を登録する

オートダイヤルボタンに、代理応答などの機能を登録することができます。
オートダイヤルボタンに登録できる機能や付加情報については付録 A の「A-7 オートダイヤルボタン機能一覧表」（➡ P.372）を参照してください。

1 待受画面で、（確定）を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 （カーソル）で［6：オートダイヤル］を選択して、（確定）を押す

≪メニュー≫
4転送設定
5録音関連設定
6オートダイヤル

3 （カーソル）で［1：ファンクション割付］を選択して、（確定）を押す

≪オートダイヤル≫
1ファンクション割付
2メールボックス割付
3DSS 割付

4 機能を登録する［ ］を押す

《ファンクション割付》
F--:--

オートダイヤルボタンを選択

↓ ［ ］

《ファンクション割付》
F19:--
未登録
↑↓：候補検索

- ［ ］のファンクション番号が表示されます。
- すでに機能が登録されているボタンを押した場合は、3 行目に機能名が表示されます。上書きしたくない場合は、機能がまだ登録されていないものに変更してください。

MEMO

- 事前に、［ ］に割り付けられている機能を確認するには、［保 留］＋［0］のあとに、調べたい［ ］を押します。電話機のディスプレイに、機能名が表示されます。
- 手順 1 〜 3 の代わりに［保 留］＋［0］を押すこともできます（付録Aの「A-4 登録モード一覧表」（➡P.368）を参照）。

5 機能種別番号を入力する

- 機能種別番号については、付録 A の「A-7 オートダイヤルボタン機能一覧表」（➡P.372）を参照してください。

  例えば、代理応答であれば、機能種別番号［0］［3］を入力します。
- 機能種別番号を入力する代わりに（カーソル）で機能名の候補を表示して選択することもできます。

《ファンクション割付》
F19:03
代理応答
↑↓：候補選択

6 （確定）を押す

- 機能種別によっては、このあと付加情報を設定する必要があります。付加情報の入力が必要な場合は、手順 7 へ進みます。
- 付加情報が必要でない機能種別の場合は、機能が登録され、「オートダイヤル」メニュー画面に戻ります。

7 （付加情報が必要な機能種別の場合）付加情報を入力する

必要な付加情報については、付録 A の「A-7 オートダイヤルボタン機能一覧表」（➡P.372）を参照してください。
例えば、代理応答であれば、「1：全て」、「2：内線のみ」、「3：内線＋専用線」、「4：外線のみ」から選択します。

8 （確定）を押す

［ ］に機能が登録され、「オートダイヤル」メニュー画面に戻ります。

MEMO

手順 4 で、集中受付装置（DSS）のオートダイヤルボタンを押した場合は、電話機のディスプレイの 1 行目の右端に「<増設 1 >」のように DSS 種別番号が表示されます。

オートダイヤルボタンへの機能の登録を削除する

MEMO

工事設定により［ ］に割り付けられた機能は、この操作では削除できません。工事設定で削除してください。

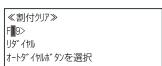
1 待受画面で、(確定)を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 (カーソル)で［6：オートダイヤル］を選択して、(確定)を押す

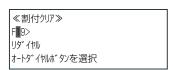
3 (カーソル)で［6：割付クリア］を選択して、(確定)を押す

4 登録を削除する［ ］を押す

↓［ ］

［ ］のファンクション番号が表示されます。画面は、リダイヤル機能が登録されている19番の［ ］を押した場合の例です。3行目に機能名が表示されます。

MEMO

- 事前に、［ ］に割り付けられている機能を確認するには、［保 留］＋［0］のあとに、調べたい［ ］を押します。電話機のディスプレイに、機能名が表示されます。
- 集中受付装置（DSS）のオートダイヤルボタンを押した場合は、電話機のディスプレイの1行目の右端に「<増設1>」のようにDSS種別番号が表示されます。

5 登録を削除する機能名が表示されていることを確認して、(確定)を押す

［ ］に登録されていた機能がクリアされ、「オートダイヤル」メニュー画面に戻ります。

第1章 電話機の取り扱い

オートダイヤルボタンに電話帳を登録する（電話帳ワンタッチ割付）

電話帳にあらかじめ電話番号を登録しておき、登録先の電話帳メモリ番号を□に登録します。これにより、登録された□はワンタッチダイヤルボタンと同じように使うことができます。

電話帳への登録や電話帳メモリ番号については、「1-7 電話帳の登録」（➡ P.37）を参照してください。

1 待受画面で、(確定)を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 (◇)で［6：オートダイヤル］を選択して、(確定)を押す

≪ﾒﾆｭｰ≫
4転送設定
5録音関連設定
6ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ

3 (◇)で［5：電話帳ワンタッチ割付］を選択して、(確定)を押す

≪ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ≫
3DSS 割付
4ﾜﾝﾀｯﾁ割付
5電話帳ﾜﾝﾀｯﾁ割付

4 登録する□を押す

≪電話帳ﾜﾝﾀｯﾁ割付≫
F-->

ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝを選択

↓ □

≪電話帳ﾜﾝﾀｯﾁ割付≫
F19>
未登録
ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝを選択

- □のファンクション番号が表示されます。
- すでに機能が登録されているボタンを押した場合は、3 行目に機能名が表示されます。上書きしたくない場合は、機能がまだ登録されていないものに変更してください。

MEMO

- 事前に、□に割り付けられている機能を確認するには、［保 留］＋［ﾀﾞﾛ］のあとに、調べたい□を押します。電話機のディスプレイに、機能名が表示されます。
- 集中受付装置（DSS）のオートダイヤルボタンを押した場合は、電話機のディスプレイの 1 行目の右端に「<増設 1 >」のように DSS 種別番号が表示されます。

5 ファンクション番号を確認または変更して、(確定)を押す

「電話帳指定」画面が表示されます。

6 (◇)で［1：共通電話帳］または［2：個別電話帳］を選択して、(確定)を押す

［2：個別電話帳］を選択した場合は、「内線対象指定」画面が表示されます。内線を指定して、(確定)を押したあと手順 7 へ進んでください。

MEMO

共通電話帳と個別電話帳については「1-7 電話帳の登録」（➡ P.37）を参照してください。

7 電話帳メモリ番号（0000 ～ 9999）を入力して電話帳を検索する

メモリ番号を入力する代わりに(◇)ボタンで、前候補 / 次候補を表示することもできます。

（メモリ番号 0001 を指定するときの入力例）

≪共通-ﾒﾓﾘ No 指定≫
0001
本社
↑ ↓ : 候補検索

入力したメモリ番号に登録されている名称または電話番号が 3 行目に表示されます。

8 (確定)を押す

9 検索結果一覧から登録対象を選択して、(確定)を押す

□に電話帳メモリ番号が登録され、「オートダイヤル」メニュー画面に戻ります。

MEMO

登録を削除するには、「オートダイヤルボタンへの機能の登録を削除する」（➡ P.29）を参照してください。

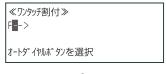
オートダイヤルボタンに電話番号を登録する(ワンタッチ割付)

□に外線番号 / 内線番号を割り付けて、オートダイヤル発信することができます。

1 待受画面で、(確定)を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 (◇)で [6:オートダイヤル] を選択して、(確定)を押す

3 (◇)を押し [4:ワンタッチ割付] を選択して、(確定)を押す

4 登録する□を押す

↓ □

≪ワンタッチ割付≫
F19>
未登録
オートダイヤルボタンを選択

- □のファンクション番号が表示されます。
- すでに機能が登録されているボタンを押した場合は、3 行目に機能名が表示されます。上書きしたくない場合は、機能がまだ登録されていないものに変更してください。

MEMO

- 事前に、□に割り付けられている機能を確認するには、[保 留] + [0] のあとに、調べたい□を押します。電話機のディスプレイに、機能名が表示されます。
- 集中受付装置 (DSS) のオートダイヤルボタンを押した場合は、電話機のディスプレイの 1 行目の右端に「<増設 1 >」のように DSS 種別番号が表示されます。

5 ファンクション番号を確認または変更して、(確定)を押す

「ワンタッチ割付」編集メニューが表示されます。

6 (◇)で [1:Tel No] を選択して、(確定)を押す

7 登録する電話番号を入力する

電話番号は最大 32 桁まで入力できます (0 ~ 9、＊、#)。

[短 縮]で特殊コード (-、P、E、[ ]) の入力 (切替) が可能です (「電話帳に情報を登録する」の「相手先の電話番号を入力する」(➡ P.40) を参照)。

8 (確定)を押す

9 (◇)で番号種別を選択して、(確定)を押す

[1: 外線] [2: 特番展開] [3:PBX] [4: 方路指定] のいずれかを選択します。

主装置に接続されている内線の場合は [2:特番展開]、構内交換機 (PBX) に接続されている内線 / 専用線の場合は、[3:PBX] を選択します。

- [4:方路指定] 以外を選択した場合は、□に電話番号が登録され、「ワンタッチ割付」編集画面に戻ります。発信付加情報を設定する場合は、手順 12 へ進んでください。
- [4:方路指定] を選択した場合は、手順 10 へ進みます。

10 ([4: 方路指定] を選択した場合) 方路番号 (00 ~ 63) を指定する

方路番号を入力する代わりに(◇)で方路番号を順番に検索することもできます。

11 (確定)を押す

- 発信付加情報の設定が不要の場合は、ここで登録は完了です。
- 発信付加情報を設定する場合は、手順 12 へ進んでください。

つづく➡

12 で［2：発信付加情報］を選択して、確定を押す

≪ﾜﾝﾀｯﾁ割付≫
1Tel No>1234567890
2発信付加情報

13 で［1：ACR 利用］を選択して、確定を押す

≪発信付加情報≫
1ACR 利用
2発番号通知

14 で ACR を利用するかどうかを選択して、確定を押す

≪ ACR 利用≫
1利用しない
2利用する*

ACR の利用の有無が設定され、「発信付加情報」画面に戻ります。

15 で［2：発番号通知］を選択して、確定を押す

≪発信付加情報≫
1ACR 利用
2発番号通知

16 で発番号の通知設定を指定して、確定を押す

≪発番号通知≫
1通知しない
2通知する
3網に従う*

発信付加情報が選択されます。

17 保　留を押す

≪ﾜﾝﾀｯﾁ割付≫
1Tel No>1234567890
2発信付加情報

オートダイヤルボタンに電話番号が割り付けられ、「ワンタッチ割付」編集画面が表示されます。

MEMO

- 登録を削除するには、「オートダイヤルボタンへの機能の登録を削除する」（➡ P.29）を参照してください。
- 手順 1 〜 3 の代わりに 保　留 ＋ 2 を押すこともできます（付録 A の「A-4 登録モード一覧表」（➡P.368）を参照）。

オートダイヤルボタンに機能特番を登録する（ワンタッチ割付）

機能 を押したあと、特定のダイヤル番号を押すと、対応する機能を操作することができます。これを機能特番といいます。

この機能特番を、□ にワンタッチダイヤルとして登録すると、ボタン 1 つで機能特番を操作できます。また、機能 ボタンがない場合でも、□ に 機能 を割り付けることで機能特番を操作できます。

使用できる機能特番については、付録 A の「A-5 機能特番の一覧」（➡ P.369）を参照してください。

1 「オートダイヤルボタンに電話番号を登録する（ワンタッチ割付）」（➡P.31）の手順 1 〜 6 を操作する

2 登録する機能特番を入力して、確定を押す

≪ Tel No 指定≫

短縮特殊ｺｰﾄﾞ入力

3 で［5：機能特番］を選択して、確定を押す

≪番号種別≫
3PBX
4方路指定
5機能特番*

□ に機能特番が登録され、「ワンタッチ割付」編集画面に戻ります。

オートダイヤルボタンにメールボックスを登録する

メールボックスとは、電話の音声メッセージを録音して格納しておくことができる箱のようなものです。それぞれの箱には、番号（メールボックス番号）が付けられ、番号を指定して、メールボックス内のメッセージを再生したり、削除したりすることができます。メールボックスについての詳細は「第５章　ボイスメールの使いかた」（➡P.203）を参照してください。

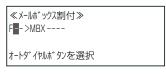
にメールボックス番号を登録しておくと、を押すことで、登録した番号のメールボックスにアクセスすることができます。また、メールボックスに未聴取のメッセージがあるときは、（メールボックス）のランプが点滅（緑）するので、メールボックスにメッセージがあるかどうかを確認することができます。

1 待受画面で、確定を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 で [6：オートダイヤル] を選択して、確定を押す

3 で [2：メールボックス割付] を選択して、確定を押す

4 メールボックスを登録するを押す

≪ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ割付≫
F19>MBX----
未登録
↑↓：候補検索

- のファンクション番号が表示されます。
- すでに機能が登録されているボタンを押した場合は、３行目に機能名が表示されます。上書きしたくない場合は、機能がまだ登録されていないものに変更してください。

MEMO

- 事前に、に割り付けられている機能を確認するには、保留＋0 のあとに、調べたいを押します。電話機のディスプレイに、機能名が表示されます。
- 集中受付装置（DSS）のオートダイヤルボタンを押した場合は、電話機のディスプレイの１行目の右端に「<増設１>」のように DSS 種別番号が表示されます。

5 メールボックス番号を入力する

- 主装置内蔵のメールボックスのメールボックス番号は、１～４桁です。
- メールボックス番号を入力する代わりにでメールボックス番号を順番に検索することができます。

（メールボックス番号 1000 の入力例）

≪ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ割付≫
F19>MBX1000
未登録
↑↓：候補検索

6 確定を押す

7 メールボックス表示種別を選択して、確定を押す

登録後のを押したとき、メールの内容を一覧で表示するか、詳細画面で１件づつ表示するかを選択します。

にメールボックス番号が登録され、「オートダイヤル」メニュー画面に戻ります。

MEMO

- 登録を削除するには、「オートダイヤルボタンへの機能の登録を削除する」（➡P.29）を参照してください。
- 手順１～３の代わりに 保留＋4 を押すこともできます（付録Aの「A-4 登録モード一覧表」（➡P.368）を参照）。

第1章 電話機の取り扱い

オートダイヤルボタンに内線 DSS 機能を登録する

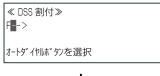
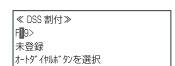
[ボタン]に内線番号を登録すると、内線相手の使用状態のわかる BLF（Busy Lamp Field）ランプとして、また登録された内線にワンタッチで電話をかけられる DSS（Direct Station Selection）ボタンとして使用することができます。

1 待受画面で、（確定）を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 （カーソル）で [6：オートダイヤル] を選択して、（確定）を押す

≪メニュー≫
4転送設定
5録音関連設定
6オートダイヤル

3 （カーソル）で [3：DSS 割付] を選択して、（確定）を押す

≪オートダイヤル≫
1ファンクション割付
2メールボックス割付
3DSS 割付

4 内線番号を登録する[ボタン]を押す

- [ボタン]のファンクション番号が表示されます。
- すでに機能が登録されているボタンを押した場合は、3 行目に機能名が表示されます。上書きしたくない場合は、機能がまだ登録されていないものに変更してください。

MEMO

- 事前に、[ボタン]に割り付けられている機能を確認するには、[保　留]＋[0] のあとに、調べたい[ボタン]を押します。電話機のディスプレイに、機能名が表示されます。
- 集中受付装置（DSS）のオートダイヤルボタンを押した場合は、電話機のディスプレイの 1 行目の右端に「＜増設 1 ＞」のように DSS 種別番号が表示されます。

5 ファンクション番号を確認または変更して、（確定）を押す

「内線対象指定」画面が表示されます。

6 登録する内線番号を入力する

内線番号を入力する代わりに（カーソル）で内線番号を順番に検索することができます。

≪内線対象指定≫
1000
↑↓：候補検索

入力した内線番号に内線名称が登録されている場合は、3行目に内線名称が表示されます。

7 （確定）を押す

[ボタン]に内線 DSS（内線番号）が登録され、「オートダイヤル」メニュー画面に戻ります。

MEMO

- 登録を削除するには、「オートダイヤルボタンへの機能の登録を削除する」（➡ P.29）を参照してください。
- 手順 1 ～ 3 の代わりに [保　留]＋[9] を押すこともできます（付録Aの「A-4 登録モード一覧表」（➡P.368）を参照）。
- BLF ランプ表示の種類は以下のとおりです。

相手内線の状態	ランプの光りかた
待機状態	消灯
登録相手からの着信中	速点滅（赤）
使用中 / 不在設定中	点灯（赤）
受話器を戻し忘れたとき（相手内線がアナログ電話機のときのみ）	間隙速点滅（赤）

内線名称の登録

内線名称を登録しておくと、内線への発着信時に相手の電話機のディスプレイに自分の内線名称を表示させることができます。また、相手内線に内線名称が登録されている場合は、発着信時に相手の内線名称が表示されます。

内線名称を登録するには、まず全内線(自テナントグループ(➡P.361)に所属する内線)を一覧表示して、該当する内線を選択します。登録した内線名称は、削除することもできます。

システム管理電話機(➡P.7)では、すべての内線名称を登録/削除することができます。一般ユーザ電話機(➡P.7)では、自内線名称のみ登録/削除できます。

※内線の一覧表示についての詳細は第3章の「内線の現在の状態を一覧表示する(内線一覧)」(➡P.149)を参照してください。

第1章 電話機の取り扱い

内線名称を登録する

1 待受画面で、(確定)を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 (カーソル)で[3:内線一覧]を選択して、(確定)を押す

3 (カーソル)で[1:一覧表示]を選択して、(確定)を押す

4 内線一覧から、内線名称を登録・修正したい内線を選択して、(確定)を押す

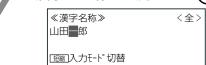
MEMO

内線一覧の見かたについては、第3章の「内線一覧画面の表示内容」(➡P.149)を参照してください。

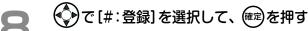
5 (カーソル)で[2:名称登録]を選択して、(確定)を押す

一般ユーザ電話機で他内線を選択した場合は、[2:名称登録][3:名称削除]は表示されません。

6 (カーソル)で[1:漢字名称]を選択して、(確定)を押す

7 漢字で名称を入力して、(確定)を押す

MEMO

- [短縮]を押すと、文字入力モードを切り替えることができます。[全角]漢→カナ→英→数→[半角]カナ→英→数の順に切り替わります。
- 文字の入力方法は、「1-4 文字入力方法」(➡P.20)を参照してください。
- カナは、未入力の場合、漢字で入力した文字列の半角カナが自動的に反映されます。

8 (カーソル)で[#:登録]を選択して、(確定)を押す

名称が登録され、「一覧」画面が表示されます。

内線名称の登録を削除する

1 待受画面で、(確定)を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 で [3 : 内線一覧] を選択して、(確定)を押す

3 で [1 : 一覧表示] を選択して、(確定)を押す

4 内線一覧から、内線名称を削除したい内線を選択して、(確定)を押す

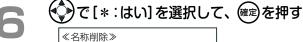
MEMO

内線一覧の見かたについては、第 3 章の「内線一覧画面の表示内容」(➡ P.149) を参照してください。

5 で [3 : 名称削除] を選択して、(確定)を押す

一般ユーザ電話機で他内線を選択した場合は、[2: 名称登録] [3: 名称削除] は表示されません。

6

第1章 電話機の取り扱い

1-7 電話帳の登録

相手の電話番号と名前を電話帳メモリに登録しておくと、電話をかけたいときに番号をダイヤルしなくても、相手の名前を電話帳から検索して電話番号を表示し、電話をかけることができます。

電話帳には、自テナントに所属している全電話機が使用できる**共通電話帳**と、電話機単位で使用できる**個別電話帳**があります。電話帳に登録できる件数は、システム全体で 10000 件です。

共通電話帳と個別電話帳は、システム管理電話機または一般ユーザ電話機（➡ P.7）から、以下のように登録、編集、削除、閲覧が可能です。

電話帳の種類	システム管理電話機	一般ユーザ電話機
共通電話帳	登録、編集、削除、閲覧が可能	閲覧のみ可能
個別電話帳	登録、編集、削除、閲覧が可能	自身の電話帳のみ登録、編集、削除、閲覧が可能

ここでは、電話帳の操作に関する以下の項目について説明します。

- 「電話帳に情報を登録する」（➡ P.37）
- 「電話帳を編集・削除する」（➡ P.47）
- 「電話帳グループの登録」（➡ P.49）

電話帳に情報を登録する

電話帳には、相手の名前と電話番号を登録するとともに、登録した相手から電話がかかってきたときの着信音や着信形式などの情報も合わせて登録することができます。いったん登録した電話帳データを編集したり、削除することもできます。電話帳の登録、編集、削除は、**サービスメニュー**と **Web 設定**から行うことができます。

ここでは、サービスメニューから電話帳に新規登録する手順について説明します。

電話番号を新しく入力して登録する場合

「登録先のメモリ番号を指定する」（➡ P.38）

「相手先の電話番号を入力する」（➡ P.40）

発着信履歴の電話番号を利用して登録する場合

「発着信履歴から電話帳に登録する」（➡ P.46）

「登録先のメモリ番号を指定する」（➡ P.38）

「相手先の名前を入力する」（➡ P.39）

「登録する電話帳グループを指定する」（➡ P.40）

「着信音を選択する（着番号別）」（➡ P.41）

「着信形式を指定する（共通電話帳のみ）」（➡ P.43）

「発信付加情報を選択する」（➡ P.44）

「メモを入力する」（➡ P.45）

「電話帳を登録する」（➡ P.45）

MEMO

Web 設定での操作については『取扱説明書（Web 設定編）』を参照してください。

登録先のメモリ番号を指定する

電話帳のメモリ番号は、電話帳データを格納する領域 1 件ごとに割り付けられた番号です。電話帳に電話番号や名前を登録するときは、まず登録先のメモリ番号を指定します。

■電話帳 1 件（1つのメモリ番号）に登録できる項目

項目	説明
名称(漢字)	最大全角 16 文字 : 全角(カナ・英数・記号)、半角(カナ・英数・記号)が入力可能
名称(カナ)	最大半角 32 文字 : 半角(カナ・英数・記号)が入力可能
グループ	グループ 0 ～9: グループ名称は、最大全角 5 文字(半角 10 文字)
電話番号	それぞれ最大 32 桁 : 1 つのメモリ番号で最大 3 つの電話番号登録が可能
番号種別	次のいずれかを選択 : 外線、特番展開、PBX、方路指定(方路番号指定)
識別着信音	次のいずれかを選択 : 無し、トーン 1 ～ 8、着信メロディ(1 ～ 2)、保留メロディ(1 ～ 2)、外部音源 1 ～ 3
着信形式	昼夜モードごとに次のいずれかを指定(共通電話帳のみ登録可能): 無し、内線、DGL グループ、MSA グループ、閉番号、付加番号 DID、着信代行、転送リモコン、留守リモコン、一般着信
発信付加情報	発番号通知や ACR 利用の有無など
メモ	最大全角 16 文字 : 全角(カナ・英数・記号)、半角(カナ・英数・記号)が入力可能

1 待受画面で、確定を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 ◇で、[2:電話帳] を選択して、確定を押す

3 ◇で、[1:新規登録] を選択して、確定を押す

4 ◇で、[1 : 共通電話帳] または [2: 個別電話帳] を選択して、確定を押す

≪電話帳指定≫
1共通電話帳
2個別電話帳

- 一般ユーザ電話機では、「電話帳指定」メニュー画面が表示されずに、直接、個別電話帳の「メモリ No 指定」画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。
- [2 : 個別電話帳] を選択した場合は、「内線対象指定」画面が表示されます。内線を指定して、確定を押したあと手順 5 へ進んでください。

5 メモリ番号 (0000 ～ 9999) を入力して、確定を押す

電話帳メモリ番号のうち、まだ電話帳データが登録されていないメモリ番号が自動的に表示されますが、修正する場合は番号を入力します。

共通電話帳を選択した場合の画面:

登録先のメモリ番号が指定され、「電話帳登録」メニュー画面が表示されます。

MEMO

- すでに情報が登録されているメモリ番号を指定すると、登録されている情報が、「電話帳登録」メニュー画面に表示されます。メモリ番号を修正するには、「メモリ No」を選択して確定を押します。「メモリ No 指定」画面が再度表示されるので、メモリ番号を入力し直してください。
- 手順 1 ～ 4 の代わりに 保 留 + 短 縮 を押すこともできます(付録Aの「A-4 登録モード一覧表」(➡P.368)を参照)。

相手先の名前を入力する

1 「電話帳登録」メニュー画面で、[2：名称] を選択して、確定を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」(➡P.38)を参照してください。

2 で、[1：漢字名称] を選択して、確定を押す

3 名称を入力して、確定を押す

4 で、[2：名称] を選択して、確定を押す

5 で、[2：カナ名称] を選択して、確定を押す

6 カナ名称を確認して、確定を押す

- 漢字名称を入力すると、カナ名称も入力された状態になります。
- カナ名称を変更する場合は、変更してから確定を押します。

名称が指定され、「電話帳登録」メニュー画面が表示されます。

MEMO

- 漢字名称に入力できる文字数は全角で最大 16 文字です。
- カナ名称に入力できる文字数は半角で最大 32 文字です。
- 短縮 で文字入力モードを切り替えることができます。
- でカーソルを移動し、文字を編集します。
- 表示された候補の次候補を表示させたいときは を押します。
- 入力できる文字については、「文字入力ボタン一覧」(➡P.22)を参照してください。
- 文字入力方法については、「1-4 文字入力方法」(➡P.20)を参照してください。

第1章 電話機の取り扱い

登録する電話帳グループを指定する

1 「電話帳登録」メニュー画面で、[3：グループ]を選択して、(確定)を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」(➡P.38)を参照してください。

```
≪共通-電話帳登録≫
1メモリ No>0000
2名称 >
3グループ > グループ 0
```

MEMO

電話帳グループの名称が未登録の場合には、「グループ 0」〜「グループ 9」が表示されます。グループ名称は、「電話帳」メニュー画面から変更できます。（➡ P.50）

2 (十字キー)で、電話帳グループを選択して、(確定)を押す

所属する電話帳グループが設定され、「電話帳登録」メニュー画面に戻ります。

相手先の電話番号を入力する

1 「電話帳登録」メニュー画面で、[4：Tel No]を選択して、(確定)を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」(➡P.38)を参照してください。

```
≪共通-電話帳登録≫
2名称 >本社
3グループ > グループ 0
4Tel No>
```

2 (十字キー)で、[1：]（または[2：][3：]）を選択して、(確定)を押す

```
≪共通- Tel No ≫
1未登録
2未登録
3未登録
```

MEMO

電話番号が登録済みの場合には以下のような表示になります。

```
≪共通- Tel No ≫
11234567890
20987654321
3未登録
```

3 電話番号を入力して、(確定)を押す

```
≪共通- Tel No 指定≫
1234567890

短縮特殊コード入力
```

電話番号が指定され、「電話帳登録」メニュー画面が表示されます。

MEMO

- 電話番号はそれぞれ最大 32 桁まで入力できます。
- 1 つのメモリ番号に対して最大 3 つまで電話番号を登録することができます。
- 入力できる文字は、0 〜 9、*、#、特殊コードです。
- 特殊コードは、[短縮]を押して入力します。入力できる特殊コードは次のとおりです。

P：PB 切替	[短縮]	1 回（5 回）
E：自動終話コード	[短縮]	2 回
-：オートポーズ	[短縮]	3 回
[]：ネスティング	[短縮]	4 回

※ E（自動終話コード）は、電話番号の先頭には入力できません。

- ネスティングダイヤルについては、第 3 章の「複数の電話帳メモリ番号を組み合わせて発信する（ネスティングダイヤル）」（➡ P.84）を参照してください。
- 入力した番号を間違えた場合は[フラッシュ]を押して 1 文字削除します。入力した値すべてを削除する場合は、[フラッシュ]を長押しします。

着信音を選択する（着番号別）

登録する電話番号から着信があったときの着信音を設定することができます。トーン、メロディ、外部音源の 3 種類の選択方法を説明します。

工事設定

この機能を使用するには、電話会社が提供する番号表示サービスの契約と工事設定が必要です。販売店にご相談ください。

トーンで指定する

1 「電話帳登録」メニュー画面で、[5：着信音] を選択して、確定を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」(➡P.38)を参照してください。

2 ◎で、[2：トーン] を選択して、確定を押す

3 ◎で、トーンを選択して、確定を押す

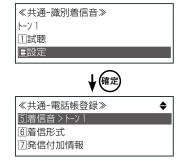
4 ◎で、[1：試聴] を選択して、確定を押す

トーンを聞きたい場合は試聴できます。試聴しない場合は、手順 6 へ進んでください。

MEMO

試聴中に◎を押すと、試聴する音量を調節することができます。

5 ◎で、[1：停止] を選択して 、確定を押す

6 ◎で、[#：設定] を選択して、確定を押す

着信音が指定され、「電話帳登録」メニュー画面に戻ります。

メロディで指定する

1 「電話帳登録」メニュー画面で、[5：着信音] を選択して、確定を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」(➡P.38)を参照してください。

≪共通-電話帳登録≫
3ｸﾞﾙｰﾌﾟ＞グループ0
4Tel No>1234567890
5着信音＞無し

2 で、[3：メロディ] を選択して、確定を押す

3 で、[1: 着信メロディ 1](または [2: 着信メロディ 2]) を選択して、確定を押す

≪共通-識別着信音≫
1着信ﾒﾛﾃﾞｨ1＊
2着信ﾒﾛﾃﾞｨ2
3保留ﾒﾛﾃﾞｨ1

4 で、[#：設定] を選択して、確定を押す

設定する前にメロディを聞きたい場合は試聴できます。試聴する場合は、「トーンで指定する」(➡P.41)の手順４を参照してください。

着信音が指定され、「電話帳登録」メニュー画面に戻ります。

MEMO

- 着信メロディ 1 ～ 2 には、あらかじめお気に入りのメロディを設定しておきます。「保留音 / 着信音にメロディを設定する」(➡ P.52) を参照してください。
- 試聴中に を押すと、試聴する音量を調節することができます。

外部音源で指定する

1 「電話帳登録」メニュー画面で、[5：着信音] を選択して、確定を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」(➡P.38)を参照してください。

≪共通-電話帳登録≫
3ｸﾞﾙｰﾌﾟ＞グループ0
4Tel No>1234567890
5着信音＞無し

2 で、[4：外部音源] を選択して、確定を押す

3 外部音源を選択して、確定を押す

MEMO

- 外部音源が存在しない場合は、設定（仮登録）することはできますが、試聴操作を行うとエラー音が鳴ります。
- 外部音源を使用したい場合は、販売店にご相談ください。

4 で、[#：設定] を選択して、確定を押す

設定する前にメロディを聞きたい場合は試聴できます。試聴する場合は、「トーンで指定する」(➡P.41)の手順４を参照してください。

着信音が指定され、「電話帳登録」メニュー画面に戻ります。

第1章 電話機の取り扱い

着信形式を指定する（共通電話帳のみ）

共通電話帳の場合には、電話帳 1 件に対して、それぞれ着信形式を設定することができます。
個別電話帳では、着信形式を設定できません。

1 「電話帳登録」メニュー画面で、[6：着信形式] を選択して、確定を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」（➡P.38）を参照してください。

2 で、[1：着信形式（昼）] を選択して、確定を押す

MEMO

着信形式は、夜間モード（昼、夜間 A-1 ～ A-3、夜間 B）ごと設定できます。

3 選択した夜間モードのときの着信先の形式（例えば [1：内線]）を選択して、確定を押す

4 （[1: 内線] を選択した場合）着信先の内線番号を指定して、確定を押す

- 内線名称が登録済みの場合には3行目に内線名称が表示されます。
- で、前候補 / 次候補を表示できます。

- 着信形式が設定され、「電話帳登録」メニュー画面に戻ります。

MEMO

手順 3 の「着信形式の編集」画面では以下の項目から選択できます。

	項目	項目選択後の画面と設定項目
0	無し	選択した着信形式が設定され、前の画面に戻る
1	内線	「内線対象指定」画面が表示され、着信先の内線番号を指定する
2	DGL グループ	「ＤＧＬグループ指定」画面が表示され、着信先のＤＧＬグループを指定する
3	MSA グループ	「ＭＳＡグループ指定」画面が表示され、着信先のＭＳＡグループを指定する
4	閉番号	「閉番号」指定画面が表示され、着信先の閉番号を指定する
5	付加番号 DID	選択した着信形式が設定され、前の画面に戻る
6	着信代行	「メールボックス指定」画面が表示され、着信先のメールボックス番号を指定する
7	転送リモコン	選択した着信形式が設定され、前の画面に戻る （着信時に、転送リモコンが使用できるようになります）
8	留守リモコン	選択した着信形式が設定され、前の画面に戻る （着信時に、留守リモコンが使用できるようになります）
9	一般着信	選択した着信形式が設定され、前の画面に戻る

※着信代行については、第 5 章の「各種代行機能」（➡ P.222）を参照してください。
※転送リモコン、留守リモコンについては、「3-7 外出先からの便利な機能」（➡ P.126）を参照してください。

発信付加情報を選択する

ACR 利用を設定する

1 「電話帳登録」メニュー画面で、[7：発信付加情報] を選択して、確定を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」(➡P.38)を参照してください。

≪共通-電話帳登録≫
5着信音＞トーン1
6着信形式
7発信付加情報

2 ◎で、[1：ACR 利用] を選択して、確定を押す

≪共通-発信付加情報≫
1ACR 利用
2発番号通知

3 ◎で、ACR の利用の有無を選択して、確定を押す

≪共通- ACR 利用≫
1利用しない
2利用する*

発信付加情報が選択され、「電話帳登録」メニュー画面に戻ります。

発番号通知を設定する

1 「電話帳登録」メニュー画面で、[7：発信付加情報] を選択して、確定を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」(➡P.38)を参照してください。

≪共通-電話帳登録≫
5着信音＞トーン1
6着信形式
7発信付加情報

2 ◎で、[2：発番号通知] を選択して、確定を押す

≪共通-発信付加情報≫
1ACR 利用
2発番号通知

3 発番号の通知設定を指定して、確定を押す

≪共通-発番号通知≫
1通知しない
2通知する
3網に従う*

発信付加情報が選択され、「電話帳登録」メニュー画面に戻ります。

MEMO

発信時の ACR 利用(➡ P.360)の有無は、新規登録時は ACR を「利用する」に設定されます。また、発番号の通知の有無は、新規登録時は「網契約に従う」に設定されます。

ACR 利用設定や発番号通知設定を変更する場合は、一度電話帳に登録後、検索、または一覧表示から変更できます。

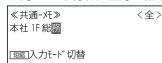
メモを入力する

メモを入力しておくと、電話帳に登録した電話番号の相手から着信があったとき、内線電話機にメモの内容が表示されます。

1 「電話帳登録」メニューで、[8：メモ] を選択して、(確定)を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」(➡P.38)を参照してください。

2 メモを入力して、(確定)を押す

例えば、「本社 1F 総務」のように入力します。メモに入力できる文字数は全角で最大 16 文字です。

メモが指定され、「電話帳登録」メニュー画面に戻ります。

電話帳を登録する

1 「電話帳登録」メニュー画面で、[#：登録] を選択して、(確定)を押す

「電話帳登録」メニュー画面の表示方法は、「登録先のメモリ番号を指定する」(➡P.38)を参照してください。

電話帳に情報が登録されます。

MEMO

各項目の操作の途中でも、[#：登録] を選んだ時点で登録が完了します。

発着信履歴から電話帳に登録する

発信履歴から電話帳に登録する

1 待受画面で、(確定)を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 (カーソルキー)で［1：履歴（発信 / 着信）］を選択して、(確定)を押す

3 (カーソルキー)で［1：発信履歴］を選択して、(確定)を押す

4 登録したい履歴を選択して、(確定)を押す

［短　縮］を押すたびに、一覧表示と詳細表示が切り替わります。

0000:01234567

１０月２４日（木）午前１０：１５

（詳細表示）

発信履歴が無い場合、「登録無し」が数秒間表示されます。電話帳に名前が登録されている場合は、名前が表示されます。

5 (カーソルキー)で登録先の電話帳（［4：共通電話帳登録］または［5：個別電話帳登録］）を選択して、(確定)を押す

- 一般ユーザ電話機の場合は、共通電話帳登録は表示されません。［4: 個別電話帳登録］を選択してください。
- ［5: 個別電話帳登録］を選択した場合は、「内線対象指定」画面が表示されます。内線を指定して、(確定)を押したあと手順 6 へ進んでください。

6 電話帳に登録する

- 新規に登録する場合には、電話帳を新規登録する画面が表示されます（➡ P.38）。
- すでに電話帳に登録されている番号を選択した場合には、電話帳を編集する画面が表示されます（➡ P.47）。
- 電話帳の登録手順については、「電話帳に情報を登録する」（➡ P.37）を参照してください。

MEMO

手順 1 ～ 3 の代わりに(発信履歴キー)を押しても発信履歴を表示することができます。

着信履歴から電話帳に登録する

1 待受画面で、(確定)を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 (カーソルキー)で［1：履歴（発信 / 着信）］を選択して、(確定)を押す

3 (カーソルキー)で［2：共通着信履歴］を選択して、(確定)を押す

≪履歴（発信 / 着信）≫
1発信履歴
2共通着信履歴
3個別着信履歴

つづく➡

4 登録したい履歴を選択して、確定を押す

短縮を押すたびに、一覧表示と詳細表示が切り替わります。

着信履歴が無い場合、「登録無し」が数秒間表示されます。電話帳に名前が登録されている場合は、名前が表示されます。

5 で登録先の電話帳（[4：共通電話帳登録]または[5：個別電話帳登録]）を選択して、確定を押す

- 一般ユーザ電話機の場合は、共通電話帳登録は表示されません。[4: 個別電話帳登録] を選択してください。

[5: 個別電話帳登録] を選択した場合は、「内線対象指定」画面が表示されます。内線を指定して、確定を押したあと手順 6 へ進んでください。

6 電話帳に登録する

- 新規に登録する場合には、電話帳を新規登録する画面が表示されます（➡ P.38）。
- すでに電話帳に登録されている番号を選択した場合には、電話帳を編集する画面が表示されます（➡ P.47）。
- 電話帳の登録手順については、「電話帳に情報を登録する」（➡ P.37）を参照してください。

MEMO

手順 1 ～ 3 の代わりにを押しても着信履歴を表示することができます。

電話帳を編集・削除する

いったん登録した電話帳データを編集したり、削除することができます。電話帳の編集、削除は、**サービスメニュー**と **Web 設定**から行うことができます。
ここでは、サービスメニューからの操作について説明します。

システム管理電話機の場合は、共通電話帳と自テナント内の各個別電話帳を編集、削除が可能です。
一般ユーザ電話機の場合、自内線の個別電話帳のみ編集、削除が可能です。

電話帳を編集する

1 電話帳の「一覧」画面または「詳細」画面を表示して、編集したい電話番号を選択して、確定を押す

電話帳の「一覧」または「詳細」画面の表示方法は、第 2 章の「電話帳を使って電話をかける（電話帳発信）」（➡ P.63）を参照してください。

MEMO

発着信履歴から、登録されている電話帳情報を編集することもできます。その場合は、発着信履歴の「一覧」または「詳細」画面を表示して、すでに電話帳に登録されている番号から編集したい番号を選択して確定を押してください。

2 で [4：編集] を選択して、確定を押す

編集する項目を選択して、確定を押します。
これ以降の操作は、電話帳の登録時の操作と同じです。「電話帳に情報を登録する」（➡ P.37）のそれぞれの説明を参照してください。

電話帳を削除する

電話帳を 1 件削除する

1 電話帳の「一覧」画面または「詳細」画面表示中に、確定を押す

電話帳の「一覧」または「詳細」画面の表示方法は、第 2 章の「電話帳を使って電話をかける(電話帳発信)」(➡ P.63)を参照してください。

2 で [6：登録削除] を選択して、確定を押す

≪共通 - 電話帳≫ No:0000
本社
5番号種別変更
6登録削除

3 で [#：一件削除] を選択して、確定を押す(一件削除する場合)

≪共通 - 登録削除≫
#一件削除
*全件削除

選択した電話帳が一件削除され、「電話帳」メニュー画面が表示されます。

電話帳を全件削除する

1 電話帳の「一覧」画面または「詳細」画面表示中に、確定を押す

電話帳の「一覧」または「詳細」画面の表示方法は、第 2 章の「電話帳を使って電話をかける(電話帳発信)」(➡ P.63)を参照してください。

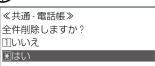
2 で [6：登録削除] を選択して、確定を押す

≪共通 - 電話帳≫ No:0000
本社
5番号種別変更
6登録削除

3 で [＊：全件削除] を選択して、確定を押す(全件削除する場合)

≪共通 - 登録削除≫
#一件削除
*全件削除

4 で [＊：はい] を選択して、確定を押す

≪共通 - 電話帳≫
全件削除しますか？
1いいえ
*はい

電話帳が全件削除され、「電話帳」メニュー画面が表示されます。

電話帳グループの登録

共通電話帳 / 個別電話帳は、グループ０～グループ９の 10 のグループに分けることができます（電話帳グループ）。電話帳 1 件ごとに、所属するグループ（電話帳グループ）を設定しておくと、グループごとの操作を行うのに便利です。また、電話帳を用途や相手先に合わせてグループ分けしておくと、電話帳を利用するときに便利です。

1 つの電話帳グループには、以下の項目を設定します。

項目	設定範囲	初期値	備考
グループ名（漢字）	最大全角５文字	グループ０～グループ９	
グループ名（カナ）	最大半角 10 文字		
リモートコールバック	次のどちらかを選択 : しない、する	ない	共通電話帳のみ設定可能
着信ランプ	次のいずれかを選択 : 設定無し、シグナルレッド、ライトブルー、レモンイエロー、ロイヤルブルー、バイオレット、グラスグリーン、ピーチホワイト、7 色レインボー	設定無し	

電話帳グループごとに操作できる便利な機能は以下のとおりです。

便利な機能	説明
着信時の着信ランプ色指定	電話帳グループごとに着信ランプの色を変えることができます。 グループごとに外線着信時の着信ランプの色を設定しておくことにより、グループごとに色分けすることができます。 **参照 :**「電話帳グループごとに着信ランプの色を切り替える（着信ランプ切替）」（➡ P.51）
リモートコールバック	電話帳グループごとにリモートコールバック指定の有無を設定することができます。 グループに設定されているリモートコールバックの設定が「する」の場合は、システムから着信した電話機にコールバックします。リモートコールバックの設定が「しない」の場合は通常の着信動作を行います。 **参照 :** 第 3 章の「電話帳グループにリモートコールバック機能を設定する」（➡ P.134）
電話帳グループ着信動作	電話帳グループごとに、外線自動転送または留守番録音（応答録音）を動作させなくしたり、動作させたりすることができます（工事設定）。共通電話帳グループのみ設定可能です。 **参照 :** 第 3 章の「外線からの着信を自動で転送する（外線自動転送）」（➡ P.102） **参照 :** 第 5 章の「留守番機能」（➡ P.212）
IP 電話自動交換	電話帳グループごとに VoIP 外線着信時に指定した内線を個別に呼び出すことができます（工事設定で「自動交換指定」にグループ番号を指定します）。

MEMO

上記機能は、外線着信時に発信者番号と電話帳に登録されている電話番号が一致した場合に動作します。
これらの機能を利用する場合は、電話会社との発信者情報通知契約などにより、発番号が通知されて着信する必要があります。

電話帳グループの名前を登録する

電話帳グループ（グループ 0 ～グループ 9）に、それぞれのグループの特徴を示すような名前を登録しておくと、電話帳登録時に所属するグループを選択するときなどに便利です。
共通電話帳グループの名前の登録は、システム管理電話機で行います。個別電話帳グループの名前の登録は、システム管理電話機と、一般ユーザ電話機の両方から行えます。

1 待受画面で、確定を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 で［2：電話帳］を選択して、確定を押す

3 で［4：電話帳グループ］を選択して、確定を押す

4 で［1：共通電話帳］または［2: 個別電話帳］を選択して、確定を押す

- 一般ユーザ電話機では、「電話帳指定」メニュー画面が表示されずに、直接、個別電話帳の「グループ指定」画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。
- ［2：個別電話帳］を選択した場合は、「内線対象指定」画面が表示されます。内線を指定して、確定を押したあと手順 5 へ進んでください。

5 で、名前を登録したいグループを選択して、確定を押す

電話帳グループの名前が未登録の場合は、「グループ 0」～「グループ 9」が表示されます。「グループ 0」～「グループ 9」のいずれかを選択します。

共通電話帳を選択した場合の画面：

6 で、［1：グループ名称］を選択して、確定を押す

共通電話帳のグループ設定メニュー画面：

7 で［1：漢字名称］を選択して、確定を押す

8 漢字名称を入力して、確定を押す

- 初期値が入力されているため、フラッシュを押して削除してください。
- グループ名には、全角漢字、カナ、英、数、半角カナ、英、数を入力できます（最大全角 5 文字）。
- グループ名の入力方法は、「1-4 文字入力方法」（➡ P.20）を参照してください。

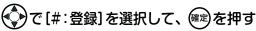
グループ名（漢字名称）が登録され、グループ設定メニュー画面に戻ります。

9 で［2：カナ名称］を選択して、確定を押す

つづく➡

10 カナ名称を確認または修正して、確定を押す

カナ名称が何も入力されていない状態から漢字名称を入力すると、カナ名称も入力された状態になります。必要に応じて修正してください（最大半角 10 文字）。

11 で [#：登録] を選択して、確定を押す

≪共通-本社≫
1 本社
8 ﾎﾝｼｬ
登録

グループ名が登録され、名称設定メニュー画面に戻ります。

電話帳グループごとに着信ランプの色を切り替える（着信ランプ切替）

電話帳グループごとに外線着信時の着信ランプの色を設定することができます。
例えば、電話帳グループを得意先の番号ごとに分類しておき、電話帳グループごとに着信ランプを色分けしておけば、着信ランプの色だけでどの得意先からの電話かを区別することができます。

1 「電話帳グループの名前を登録する」（➡ P.50）の手順 1 ～ 4 を操作する

2 で、着信ランプ色を設定したいグループを選択して、確定を押す

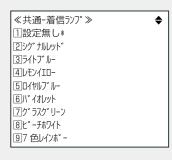
電話帳グループの名前が未登録の場合は、「グループ 0」～「グループ 9」が表示されます。いずれかのグループを選択します。

3 で、[3：着信ランプ] を選択して、確定を押す

4 で、着信ランプの色を選択して、確定を押す

- カーソルで選択中の表示色で着信ランプが点滅し、表示色を確認しながら設定できます。
- 選択した着信ランプの色が設定されます。

MEMO

電話帳グループごとの着信ランプは、初期設定では「設定無し」です。以下の 8 種類から選択できます。

1-8 その他の機能

保留音 / 着信音にメロディを設定する

保留音や着信音として、メロディを流すように設定することができます。保留音・着信音としてメロディを設定するには、まずメロディ設定で保留メロディ 1 ～ 2 および着信メロディ 1 ～ 2 にお気に入りのメロディを登録しておきます。14 曲の保留メロディ、20 曲の着信メロディから、使用する曲を選択します。
この操作ができるのは、システム管理電話機のみです。

第1章 電話機の取り扱い

1 待受画面で、(確定)を押す

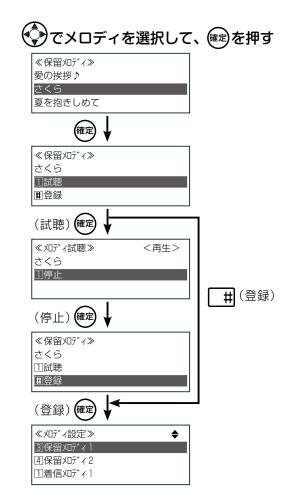
電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 (カーソルキー)で [8：音設定] を選択して、(確定)を押す

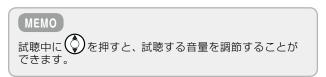
3 (カーソルキー)で [4：メロディ設定] を選択して、(確定)を押す

4 (カーソルキー)で [3：保留メロディ 1] を選択して、(確定)を押す

設定する項目に応じて、[保留メロディ 2]、[着信メロディ 1]、[着信メロディ 2] を選択してください。

5 (カーソルキー)でメロディを選択して、(確定)を押す

選択したメロディが設定され、「メロディ設定」メニューが表示されます。

すでに保留音接続中の場合は、試聴することはできません。保留音を使用していないときに変更するようにしてください。

つづく

MEMO

- 選択できる保留メロディは、次の 14 曲です。

No	保留メロディ
1	愛の挨拶
2	さくら
3	夏を抱きしめて
4	秋桜
5	Everything
6	花
7	世界に一つだけの花
8	ニューヨーク・シティ・セレナーデ
9	組曲「惑星」の木星
10	カノン
11	ユーザメロディ 1
12	ユーザメロディ 2
13	ユーザメロディ 3
14	ユーザメロディ 4

- 現在設定中のメロディの末尾には「♪」が付きます。
- メロディ選択画面では、現在設定中のメロディが 1 行目に表示されます。

- 選択できる着信メロディは、次の 20 曲です。

No	着信メロディ	No	着信メロディ
1	愛の挨拶	11	黒電話
2	さくら	12	ステーション
3	夏を抱きしめて	13	ハープ
4	秋桜	14	朝
5	Everything	15	ネクストステージ
6	花	16	琴
7	世界に一つだけの花	17	ユーザメロディ 1
8	ニューヨーク・シティ・セレナーデ	18	ユーザメロディ 2
9	組曲「惑星」の木星	19	ユーザメロディ 3
10	カノン	20	ユーザメロディ 4

- **Web 設定**を使って、メロディファイルを転送することができます。
- システムに登録できるメロディは 4 つで、Web 設定で転送したメロディファイルをユーザメロディ 1 ～ 4 に格納することができます。それぞれに漢字名称、カナ名称を登録できます（全角 10 文字まで）。
- 登録されたメロディ名は、ユーザメニュー操作でのメロディ設定時に参照できます。
- ユーザメロディとして登録されたメロディファイルは、着信音や保留音に設定することができます。
- Web 設定の使いかたについては、「パソコンの Web ブラウザでWeb設定を利用する」（➡P.198）および『取扱説明書（Web 設定編）』を参照してください。

第1章 電話機の取り扱い

保留音の設定

保留音をメロディや外部音源の音に変更することができます。

保留音種にメロディを選択したい場合には、はじめにメロディ設定で保留メロディ 1 ～ 2 にお気に入りのメロディを登録してから、保留音種選択の操作をします。14 曲の保留メロディと外部音源 1 ～ 3 から選択します。保留音を設定、変更できるのはシステム管理電話機のみです。

保留メロディ 1 の初期値は「愛の挨拶」、保留メロディ 2 の初期値は「さくら」です。保留メロディ 1 ～ 2 へのメロディの登録については、「保留音 / 着信音にメロディを設定する」(➡ P.52) を参照してください。

保留音を変更する

1 **待受画面で、確定を押す**

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

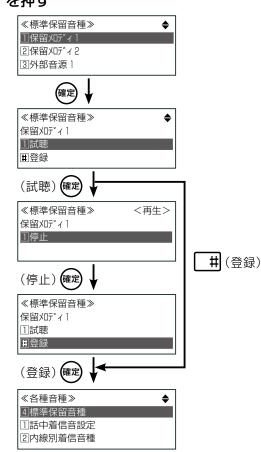
2 **で [8：音設定] を選択して、確定を押す**

≪メニュー≫
6オートダイヤル
7応答ガイダンス管理
8音設定

3 **で [7：各種音種] を選択して、確定を押す**

≪音設定≫
5ボタン押下音設定
6側音量
7各種音種

4 **で [4：標準保留音種] を選択して、確定を押す**

5 **で [1：保留メロディ 1] を選択して、確定を押し、[#：登録] を選択して、確定を押す**

メロディ設定で選択したメロディが保留音として設定されます。

MEMO

- すでに保留音接続中の場合は、試聴することはできません。保留音を使用していないときに変更するようにしてください。
- 試聴中に を押すと、試聴する音量を調節することができます。

第1章 電話機の取り扱い

着信音色の選択

電話機ごとに外線別着信または内線別着信の着信音の音色を選択することができます。

システム管理電話機から設定する場合は、内線別着信音と外線別着信音の両方を選択できます。一般ユーザ電話機からは内線別着信音のみ選択できます。

着信音の音色には、トーン、メロディ、外部音源から選択することができます。

ここでは、電話帳に登録されていない電話番号からの着信に対して、着信音を選択する方法を説明します。電話帳に登録されている電話番号からの着信の着信音の選択については、「着信音を選択する（着番号別）」（➡ P.41）を参照してください。

工事設定

外部音源を使用したい場合は、販売店にご相談ください。

外線別着信音種を登録する

外線別着信音種の登録は、システム管理電話機からのみ操作できます。

着信音にトーンを設定する

1 待受画面で、確定を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 ◇で［8：音設定］を選択して、確定を押す

≪メニュー≫
6オートダイヤル
7応答ガイダンス管理
8音設定

3 ◇で［7：各種音種］を選択して、確定を押す

≪音設定≫
5ボタン押下音設定
6側音量
7各種音種

4 ◇で［1：外線別着信音種］を選択して、確定を押す

≪各種音種≫
1外線別着信音種
2内線別着信音種
3話中着信音設定

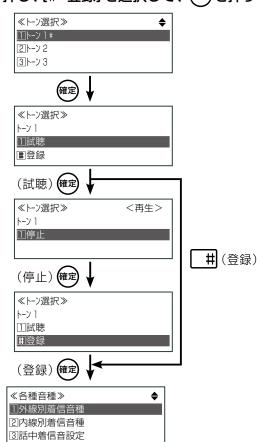
5 外線番号（外線／専用線シーケンス番号（➡ P.360））を指定して、確定を押す

工事設定

回線シーケンス番号については、販売店にお問い合せください。

6 ◇で［1：トーン］を選択して、確定を押す

≪外線別着信音種≫
1トーン*
2メロディ
3外部音源

7 ◇でトーンの種類を選択して、確定を押し、［#：登録］を選択して、確定を押す

- 試聴中に◇を押すと、試聴する音量を調節することができます。
- トーンの種類が確定され、「各種音種」メニュー画面が表示されます。

着信音にメロディを設定する

着信音にメロディを選択したい場合には、はじめにメロディ設定で着信メロディ 1 ～ 2 にお気に入りのメロディを登録してから、着信音種選択の操作をします。20 曲の着信メロディから、使用する曲を選択します。

着信メロディ 1 の初期値は「夏を抱きしめて」、着信メロディ 2 の初期値は「秋桜」です。着信メロディ 1 ～ 2 へのメロディの登録については、「保留音 / 着信音にメロディを設定する」(➡ P.52)を参照してください。

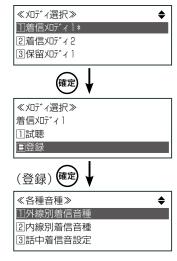
1 「着信音にトーンを設定する」(➡ P.55)の手順 1 ～ 5 を操作する

「外線別着信音種」メニュー画面が表示されます。

2 で [2：ﾒﾛﾃﾞｨ] を選択して、確定を押す

MEMO

手順 3 で、試聴中にを押すと、試聴する音量を調節することができます。

3 でメロディを選択して、確定を押し、[#：登録] を選択して、確定を押す

- 試聴する場合は、「着信音にトーンを設定する」(➡ P.55)の手順 7 を操作します。
- メロディが確定され、「各種音種」メニュー画面が表示されます。

着信音に外部音源を設定する

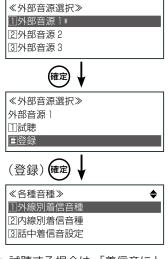
1 「着信音にトーンを設定する」(➡ P.55)の手順 1 ～ 5 を操作する

「外線別着信音種」メニュー画面が表示されます。

2 で [3：外部音源] を選択して、確定を押す

工事設定

外部音源を使用したい場合は、販売店にご相談ください。

3 で外部音源の種類を選択して、確定を押し、[#：登録] を選択して、確定を押す

- 試聴する場合は、「着信音にトーンを設定する」(➡ P.55)の手順 7 を操作します。
- 外部音源が確定され、「各種音種」メニュー画面が表示されます。

試聴中にを押すと、試聴する音量を調節することができます。

内線別着信音種を登録する

内線別着信音種は、システム管理電話機と一般ユーザ電話機の両方から設定できます。

1 待受画面で、確定を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 で［8：音設定］を選択して、確定を押す

システム管理電話機では［8：音設定］、一般ユーザ電話機では［7：音設定］を選択します。

3 で［7：各種音種］を選択して、確定を押す

システム管理電話機では［7：各種音種］、一般ユーザ電話機では［6：各種音種］を選択します。

4 で［2：内線別着信音種］を選択して、確定を押す

システム管理電話機では［2：内線別着信音種］、一般ユーザ電話機では［1：内線別着信音種］を選択します。

5 内線番号を指定して、確定を押す

一般ユーザ電話機では、「内線対象指定」画面が表示されないので、手順6へ進みます。

6 で［1：トーン］、［2: メロディ］、［3: 外部音源］のいずれかを選択して、確定を押す

以降の操作は、「外線別着信音種を登録する」（➡P.55）を参照してください。

着信ランプ表示色の設定（着信種別や各種状態別）

着信種別や時刻アラーム、録音状態などごとに着信ランプの色を変えることができます。この操作ができるのは、システム管理電話機のみです。

1 待受画面で、確定を押す

電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 で、［9：表示設定］を選択して、確定を押す

≪メニュー≫
7応答ガイダンス管理
8音設定
9表示設定

3 で、［1：着信ランプ］を選択して、確定を押す

≪表示設定≫
1着信ランプ
2履歴表示設定
3表示形式設定

4 で、着信種別などを選択して、確定を押す

［1: 外線一般系着信］［2: 外線個別着信］［3: 専用線着信］［4: 内線着信］［5: ドアホン着信］［6: 録音表示］［7: 時刻アラーム］［8:FAX 着信］［9: 不応答着信］のいずれかから選択します。

≪着信ランプ≫
1外線一般系着信
2外線個別着信
3専用線着信

MEMO

着信ランプは、以下の 9 種類の着信種別や状態などについて設定できます。それぞれのお買い上げ時の表示色の設定は次のとおりです。

No	着信の種類や状態	表示色
1	外線一般系着信	シグナルレッド
2	外線個別着信	ライトブルー
3	専用線着信	バイオレット
4	内線着信	ライトブルー
5	ドアホン着信	レモンイエロー
6	録音表示	ロイヤルブルー
7	時刻アラーム	ピーチホワイト
8	FAX 着信	グラスグリーン
9	不応答着信	7 色レインボー

5 で、着信ランプ表示色を選択して、確定を押す

≪外線一般系着信≫
1シグナルレッド＊
2レモンイエロー
3グラスグリーン

着信ランプの表示色が登録され、「着信ランプ」メニュー画面が表示されます。

MEMO

- 着信ランプの色は、次の 8 種類から選択できます。
  1: シグナルレッド
  2: ライトブルー
  3: レモンイエロー
  4: ロイヤルブルー
  5: バイオレット
  6: グラスグリーン
  7: ピーチホワイト
  8:7 色レインボー
- あらかじめ電話帳に割り当てたグループごとに外線着信時の着信ランプの色を変えることもできます。設定方法については「電話帳グループごとに着信ランプの色を切り替える（着信ランプ切替）」(➡P.51)を参照してください。